

熊本商工会議所
2012年経済予測アンケート
結果報告書

KEY WORD

- ★ 景気の現状…「やや悪化」が34.2%、「変わらない」が33.5%で「悪化」の割合が減少
- ★ 景気の回復予測…「わからない」が50.3%でトップ、しかし「来年（2012年）から回復」が20%となり回復時期がわずかに早まるとの予測
- ★ 産業別予測…「やや悪化」－「全業種」「建設業」「製造業」「卸売・小売業」、「飲食業」
「変わらない」－「運輸・通信業」「金融・保険業」「サービス業」
～悪化予測が上回るも、ほとんどの業種で好転の割合が増加～
- ★ 経営上の問題点…「営業利益の低下」と「受注・販売競争の激化」が過半数を超える
- ★ 経営の重視点…「収益」と「売上高」重視の傾向が続く
- ★ 熊本市の政令指定都市移行に伴う経済効果…「ややプラス」を予測

熊本商工会議所

2011年12月

<本調査のお問い合わせ>
熊本商工会議所 会員サービス部 情報調査課
TEL354-6688 FAX354-8890

熊本商工会議所
2012年経済予測アンケート

I N D E X

1. 調査概要	1
2. 景 気	2
3. 産業別予測	4
4. 円 市 場	12
5. 株 式 市 場	13
6. 金 利	14
7. 経営の問題点	15
8. 経営の重視度	16
9. 熊本市政令指定都市移行	24

※ 巻末…「2012年経済予測アンケート」調査用紙

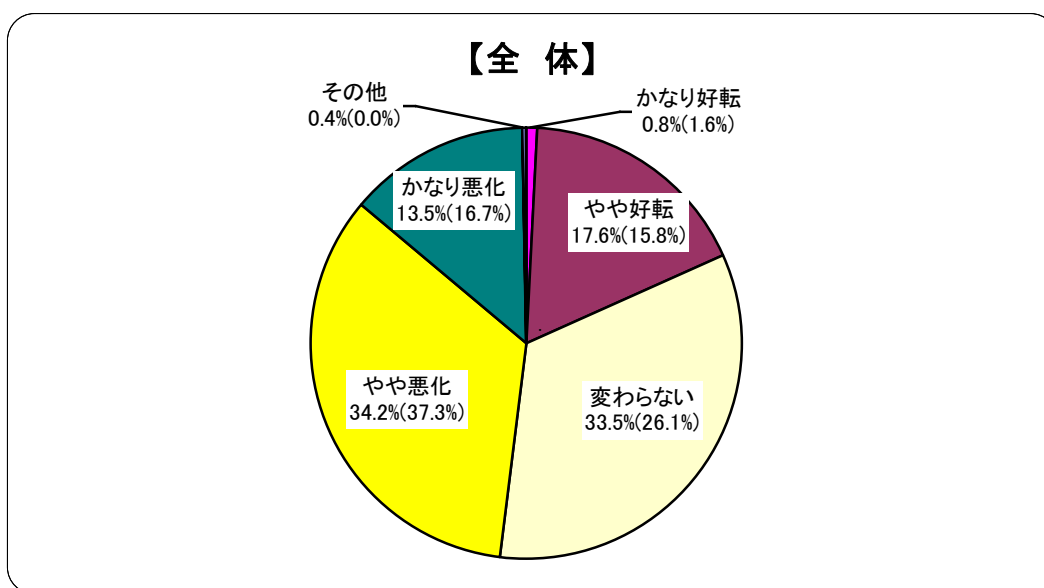
調 査 概 要

1. 調査期間 平成23年11月14日(月)～11月21日(月)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 101企業・団体 102名
熊本商工会議所 経営動向調査モニター企業 400企業 400名
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業であるため報告書に
おいては小規模企業と標記する)
3. 配布数 502名(501企業・団体)
4. 調査方法 調査用紙配布:郵送 調査票回収:FAX
5. 回答者数 245名(有効回答率48.8%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

2011年11月 景気の現状

※グラフ内の()については、前年数値です。

「やや悪化」34.2%、「変わらない」33.5%、「やや好転」17.6%



景気の現状(2011年11月中旬)については、前年同期に比べ「やや悪化」が34.2%(対前年比3.1ポイント減)でトップ、次いで「変わらない」が33.5%(対前年比7.4ポイント増)、「やや好転」が17.6%(対前年比1.8ポイント増)、「かなり悪化」が13.5%(対前年比3.2ポイント減)となった。

「かなり悪化」と「やや悪化」を合わせると47.7%(対前年比6.3ポイント減)となり、依然厳しい状況ではあるものの、4年ぶりに半数を割り込んだ。

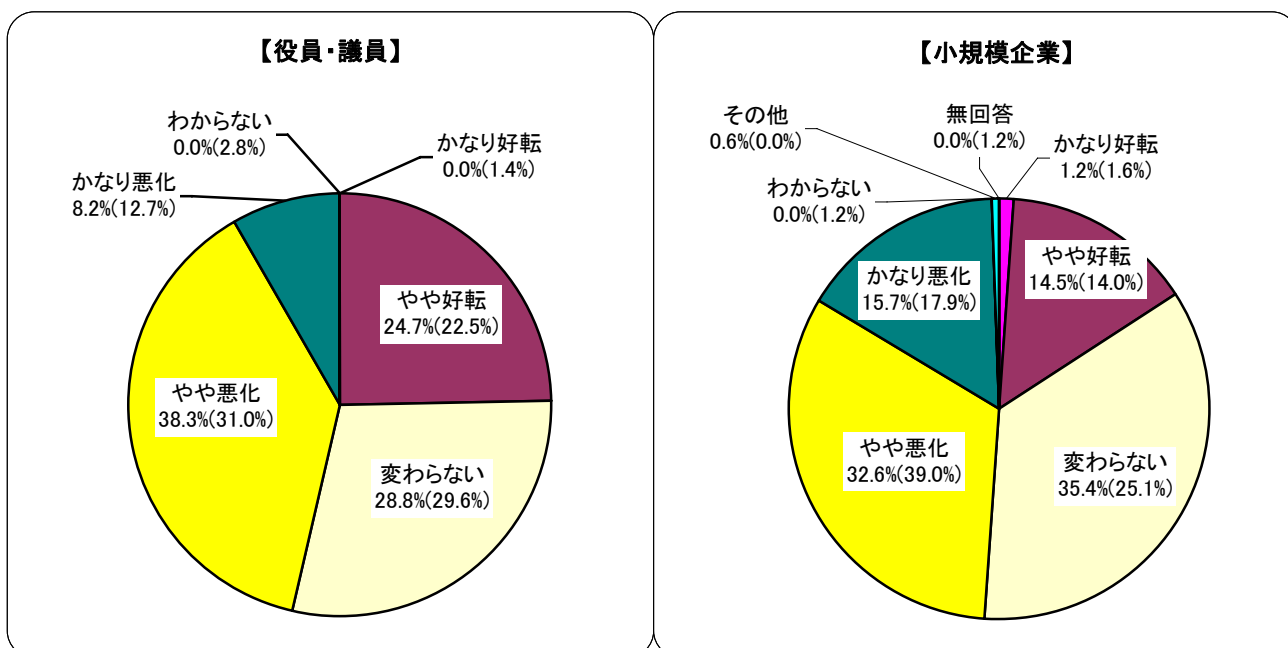
「やや好転」については3年連続でポイントが増加し、4年ぶりに「かなり悪化」を上回ったことから、わずかではあるが改善傾向にあるという結果となった。

「変わらない」が増えていることから、やや停滞した状況が続いていると感じている人が多いものと思われる。

2011年11月 規模別の景気の現状

※グラフ内の()については、前年数値です。

【役員・議員】は「やや悪化」、【小規模企業】は「変わらない」がトップ

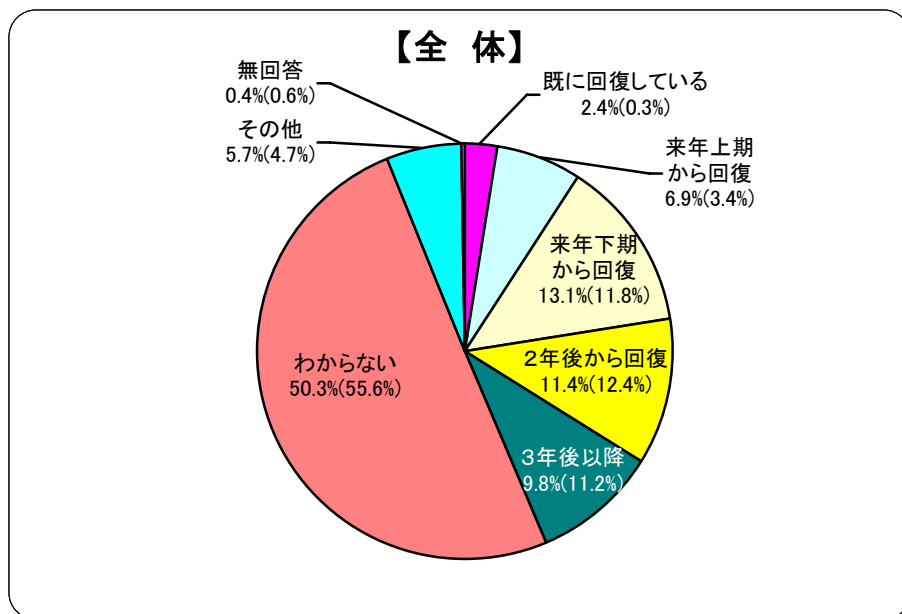


【役員・議員】は「やや悪化」が38.3%(対前年比7.3ポイント増)、【小規模企業】は「変わらない」35.4%(対前年比10.3ポイント増)でトップになった。

2012年 景気の回復時期

※グラフ内の()については、前年数値です。

「わからない」が前年に続き50.3%でトップ
次いで「来年(2012年)下期から回復」13.1%、「2年後(2013年)から回復」11.4%



景気の回復時期については、「わからない」が50.3%(対前年比5.3ポイント減)となり、「来年(2012年)下期から回復」が13.1%で4年ぶりに2番目、「2年後(2013年)から回復」が11.4%で3年ぶりに3番目となった。

前年より「わからない」「2年後から回復」「3年後以降」と回答した割合が減少し、「既に回復」や「来年から回復」が増加し、景気の回復時期がわずかに早まるとの予測となった。

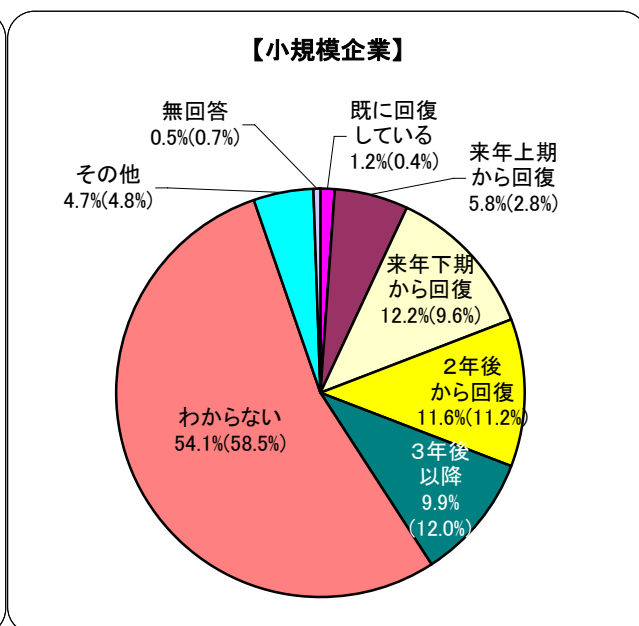
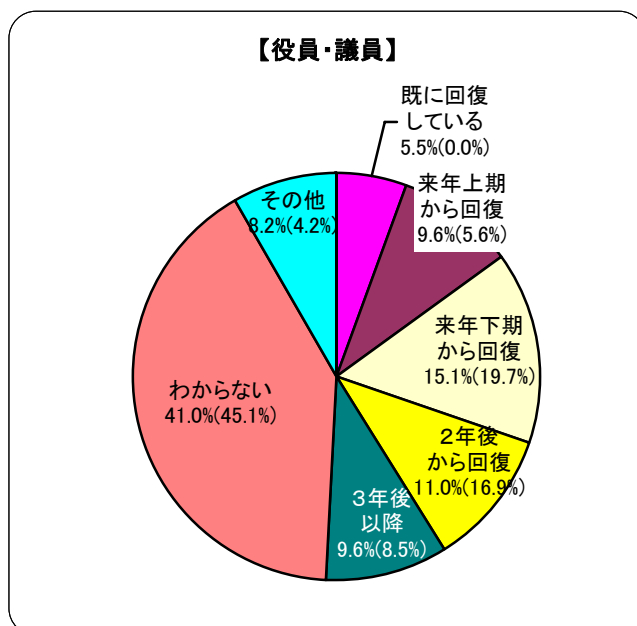
【その他の回答からの抜粋】

◎2011年第4四半期から緩やかに回復。◎現状で推移する。◎今後、増税等で景気はさらに悪化すると思われる。◎景気は現状にさざ波程度が続く。◎来年より回復傾向になると思われるが、増税により停滞すると思われる。◎2030年以降頃から回復。◎回復できない。◎昨年、今年と景気の底打ちの気配あり。但し、欧州経済動向や電力問題など、多くの下振れリスクを抱えている。

2012年 規模別の景気の回復時期

※グラフ内の()については、前年数値です。

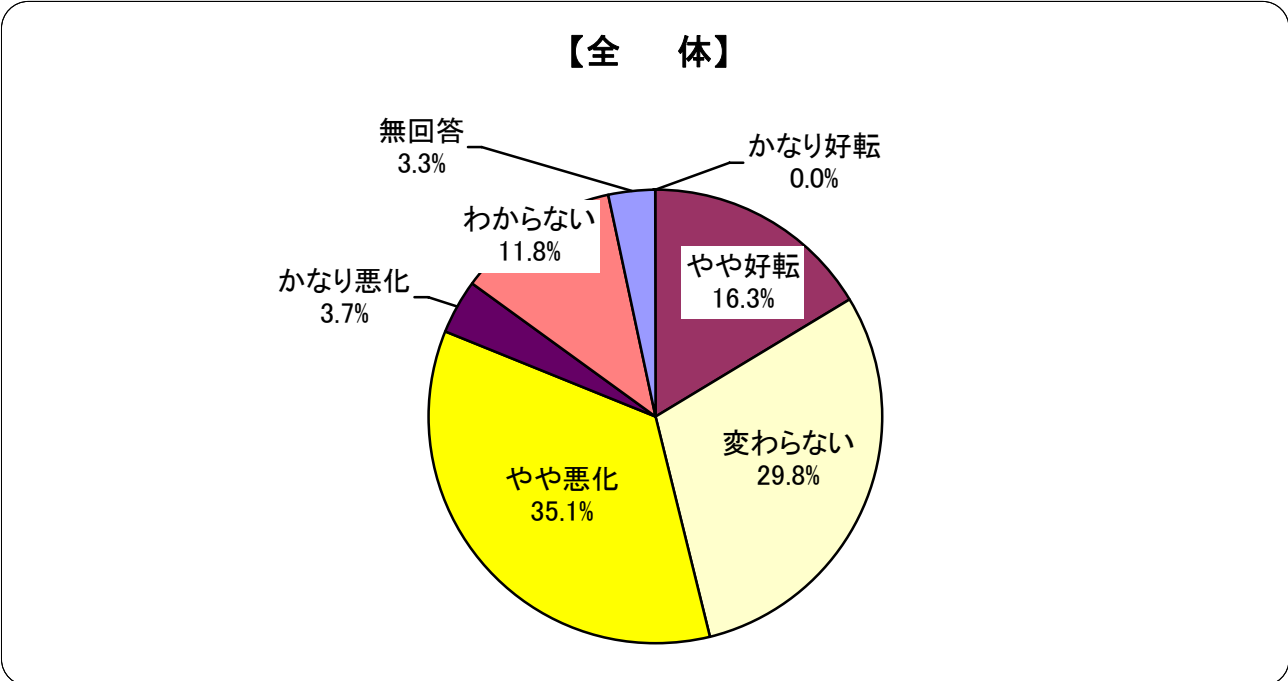
【役員・議員】、【小規模企業】ともに「わからない」がトップ



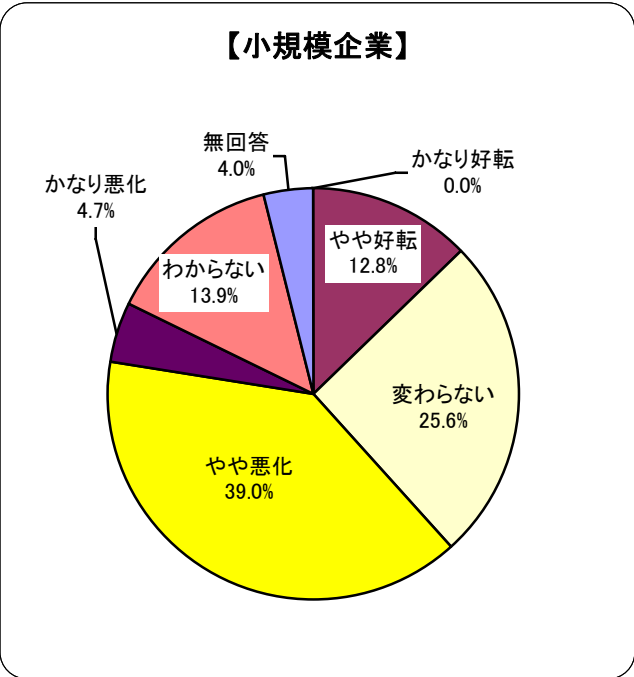
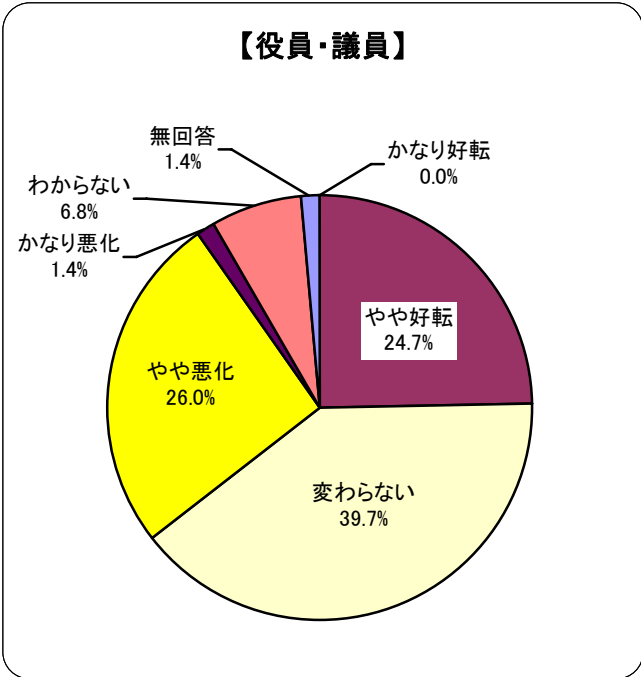
【役員・議員】、【小規模企業】ともに「わからない」がトップであるが、それぞれのポイント差は、約13ポイントと大きく開いた。「既に回復」と「来年(上期+下期)から回復」の割合でも【役員・議員】は30.2%に対して、【小規模企業】は19.2%と、ポイント差が11ポイントと大きく開いた。

2012年 産業別動向

全 業 種



来年の全業種の動向については、「やや悪化」が35.1%、次いで「変わらない」が29.8%となり、産業全体としては、やや悪化か停滞を予測する割合が多くなっている。「(かなり+やや)悪化」が約4割を占め、依然厳しい見通しであるとの予測となった。

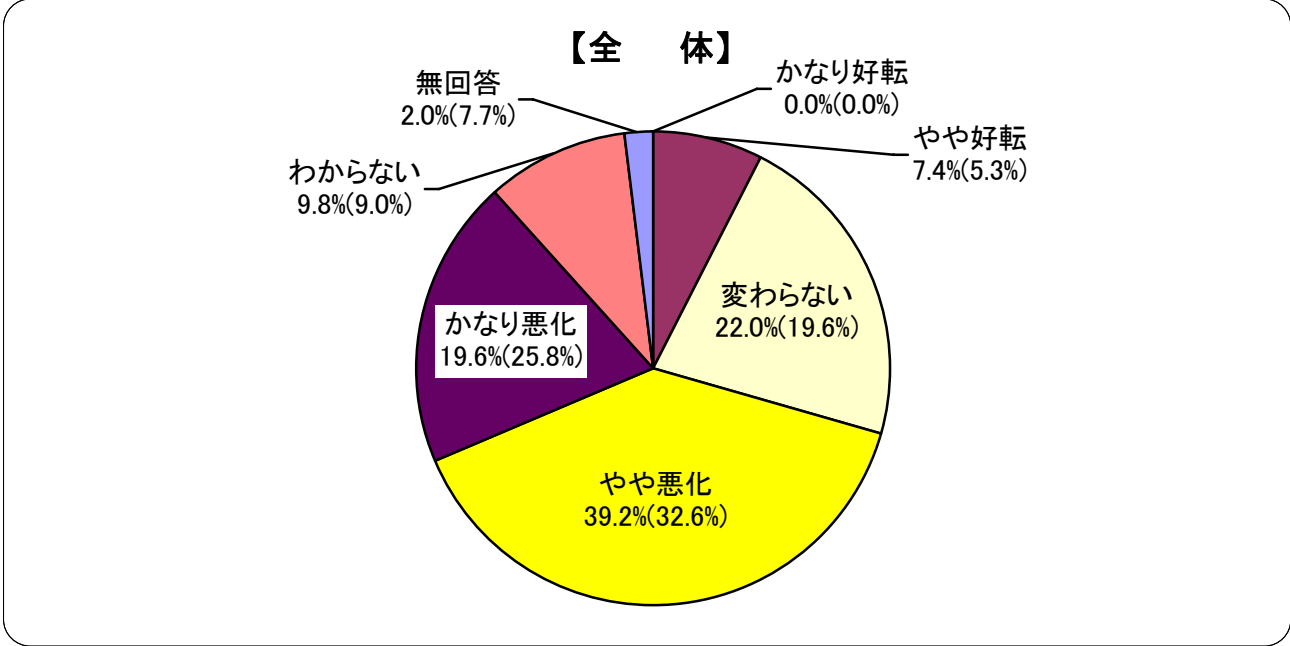


【役員・議員】は「変わらない」が39.7%、【小規模企業】は「やや悪化」が39.0%でトップとなり、企業規模による予測の違いが表れる結果となった。

2012年 産業別動向

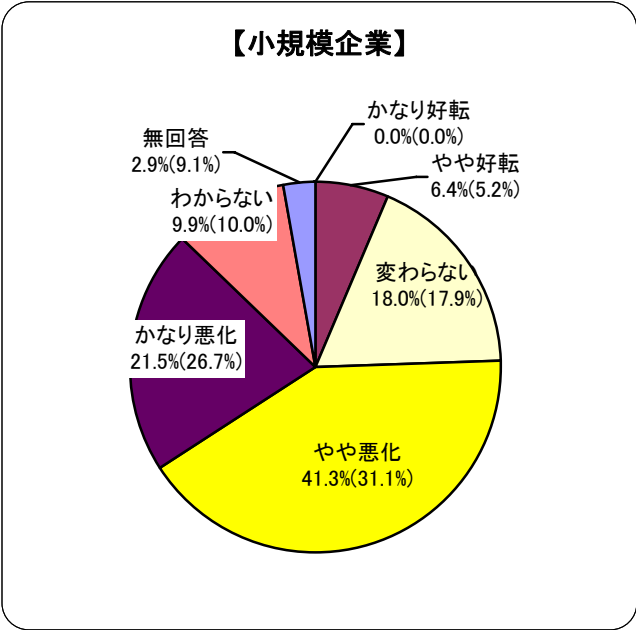
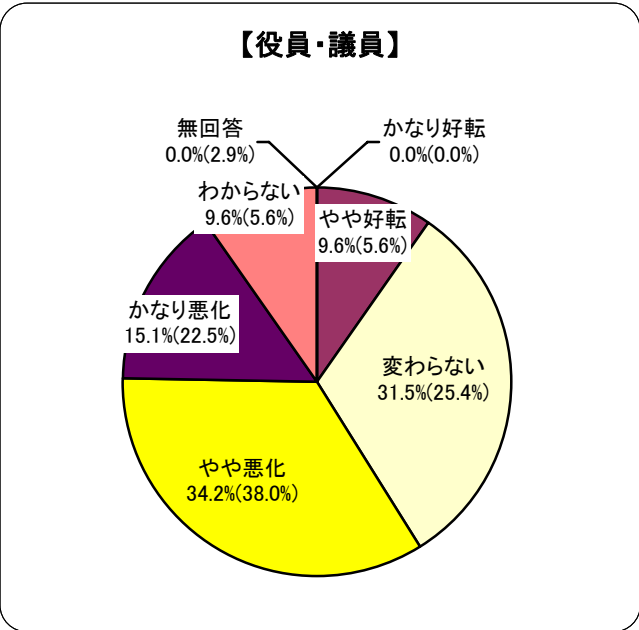
建設業

※グラフ内の()については、前年数値です。



来年の建設業の動向については、「やや悪化」が39.2%（対前年比6.6ポイント増）で前年に引き続きトップとなり、「変わらない」が22.0%（対前年比2.4ポイント増）、「かなり悪化」が19.6%（対前年比6.2ポイント減）となった。

過去4年の調査結果では「かなり悪化」が69.0%→55.1%→25.8%→19.6%と徐々に減少し、今回との比較では49.4ポイント減と大幅に減少しているものの、「(やや+かなり)悪化」が58.8%であり、全業種の中で最も厳しい予測となっている。

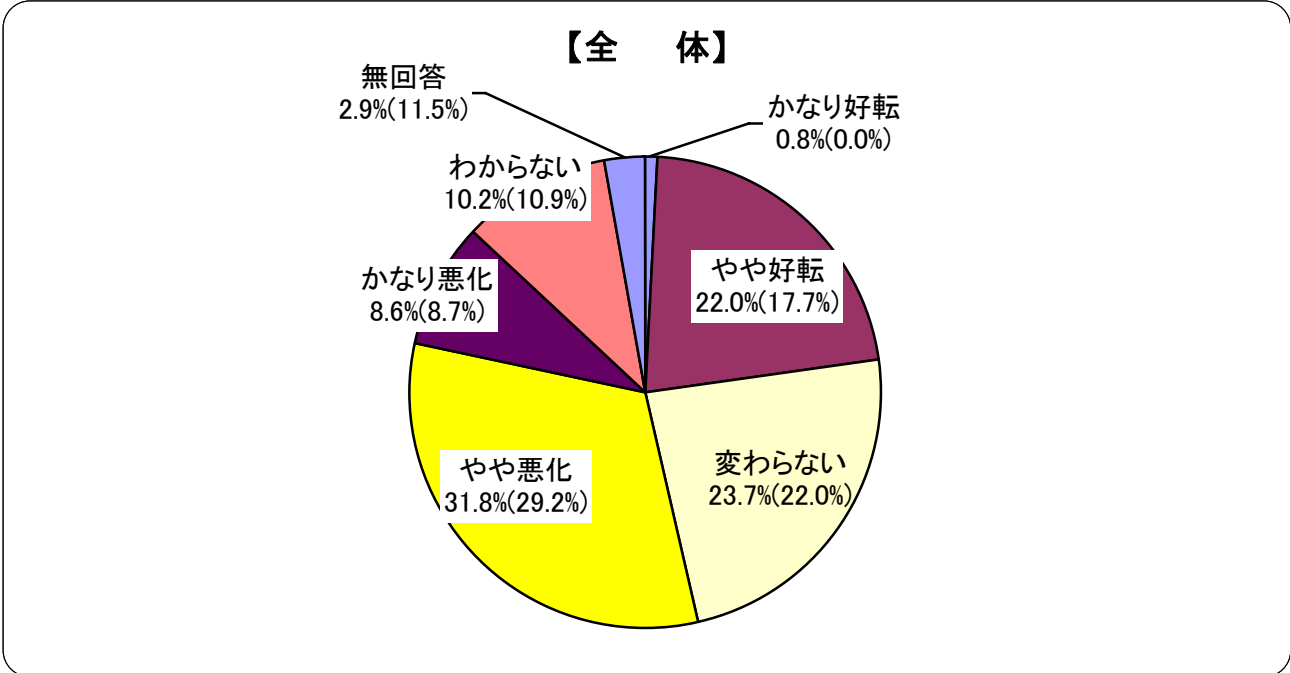


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや悪化」がそれぞれ34.2%（対前年比3.8ポイント増）、41.3%（対前年比10.2ポイント増）とトップであったが、「悪化」だけを見ると、【役員・議員】は49.3%に対し、【小規模企業】は62.8%と10ポイントを超える差が出ている。【小規模企業】ほど経営環境が厳しいと予測する結果となった。

2012年 産業別動向

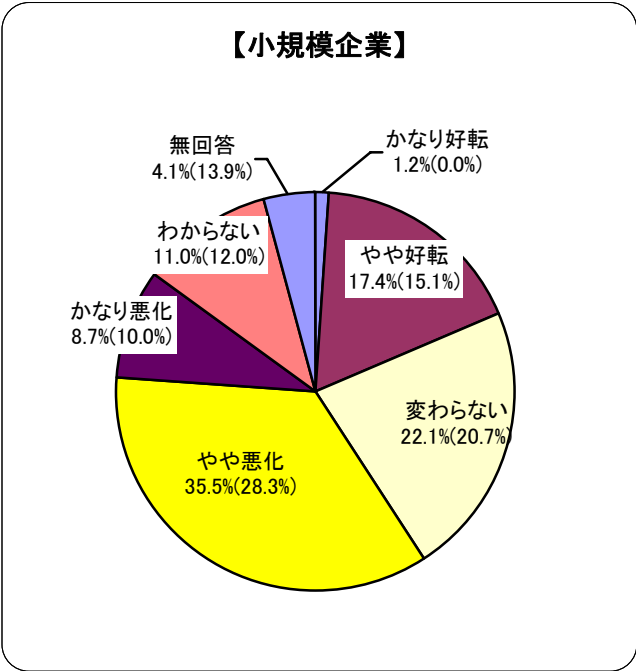
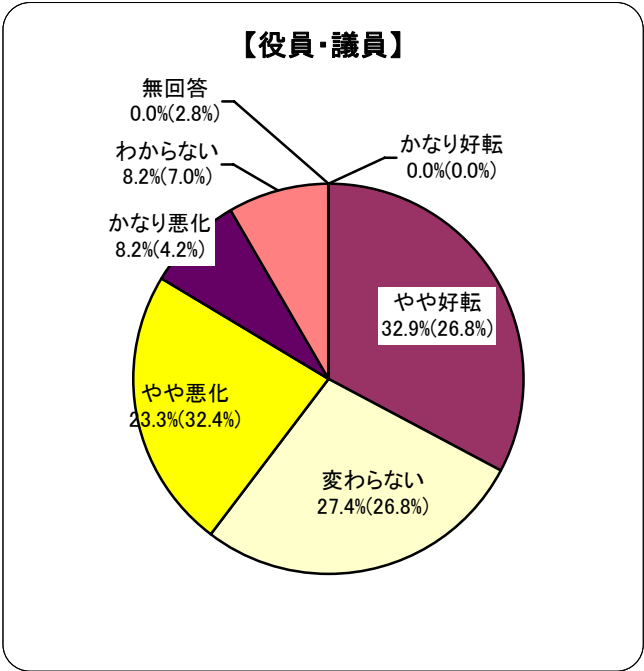
製造業

※グラフ内の()については、前年数値です。



来年の製造業の動向については、「やや悪化」が31.8%（対前年比2.6ポイント増）で前年に引き続きトップとなり、「変わらない」が23.7%（対前年比1.7ポイント増）、「やや好転」が22.0%（対前年比4.3ポイント増）となった。

前年に続き「悪化」の割合がトップではあるものの、ポイント増では「やや好転」が一番だったことから、改善傾向を予測する人がわずかに増えているものと思われる。

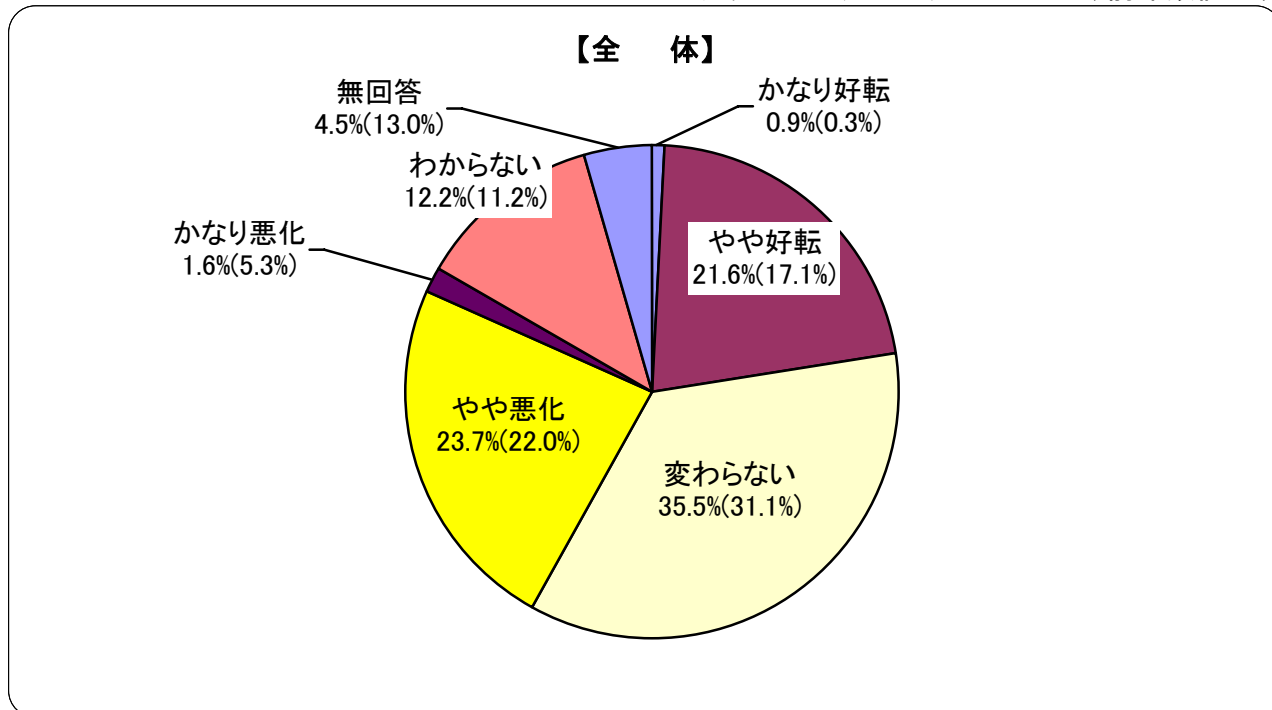


【役員・議員】は「やや好転」32.9%（対前年比6.1ポイント増）、【小規模企業】は「やや悪化」35.5%（7.2ポイント増）とトップが対称的な結果となった。両方とも30%台を占めていることから、企業規模による予測の違いが表れる結果となった。

2012年 産業別動向

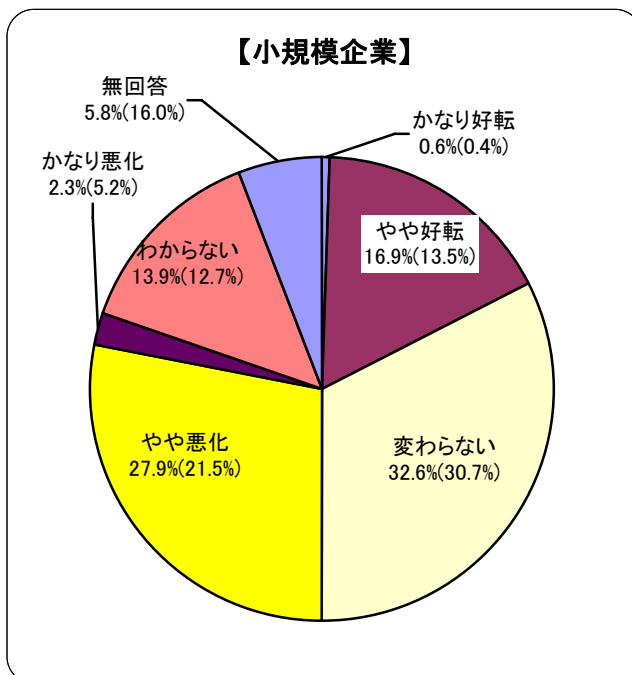
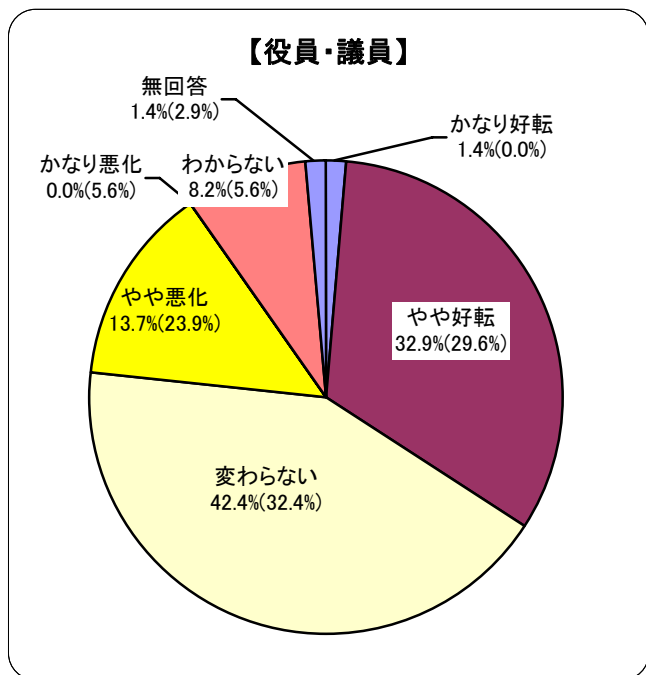
運輸・通信業

※グラフ内の()については、前年数値です。



来年の運輸・通信業の動向については、「変わらない」が35.5%（対前年比4.4ポイント増）で前年に引き続きトップとなり、「やや悪化」が23.7%（対前年比1.7ポイント増）、「やや好転」が21.6%（対前年比4.5ポイント増）となった。

「悪化」が減少し、「好転」が増加、「悪化」と「好転」の差は2.8ポイントまで縮まっている。

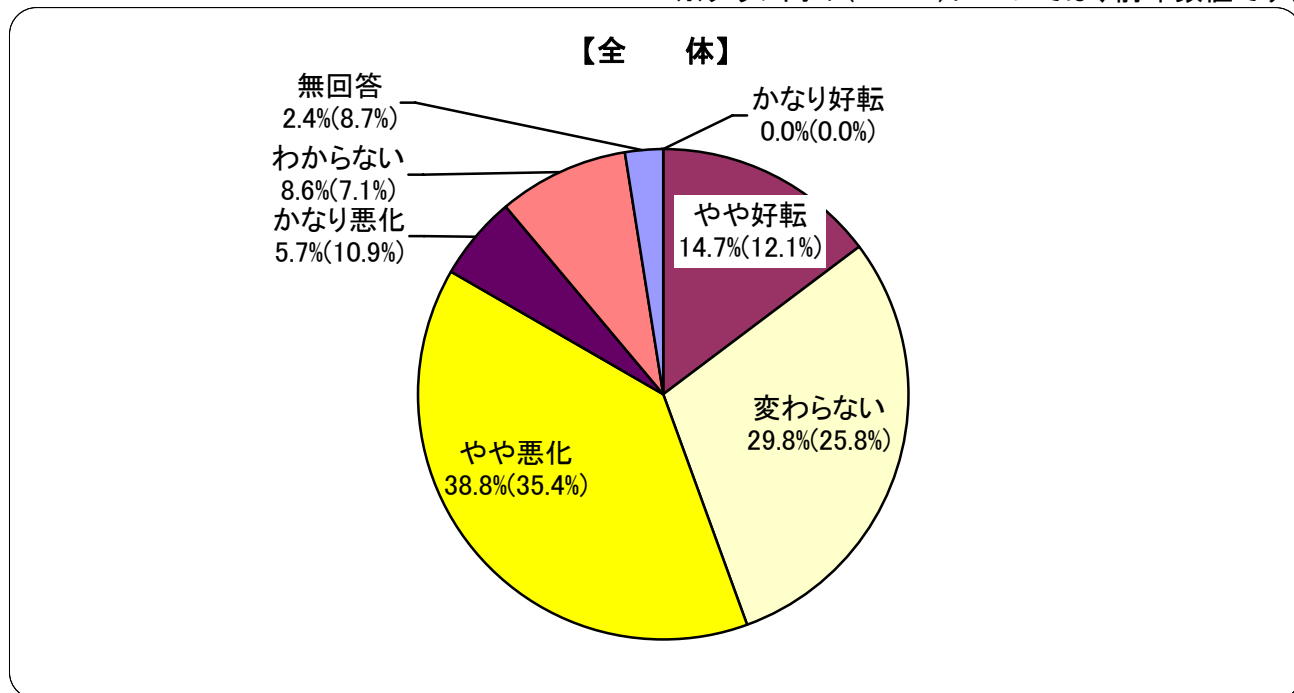


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がそれぞれ42.4%（対前年比10ポイント増）、32.6%（対前年比1.9ポイント増）でトップとなったが、ポイント差が9.8ポイントと差が開いた。次いで【役員・議員】は「やや好転」、【小規模企業】は「やや悪化」と続き、ここでも企業規模による予測の違いが表れた結果となった。

2012年 産業別動向

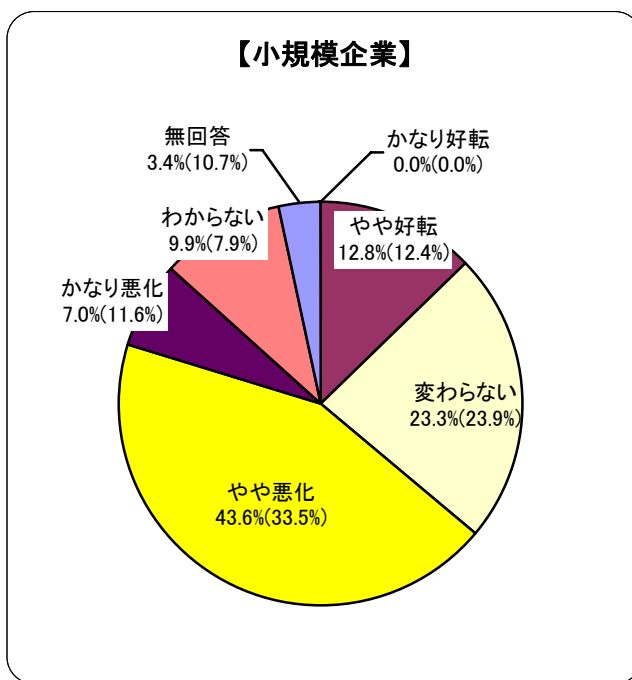
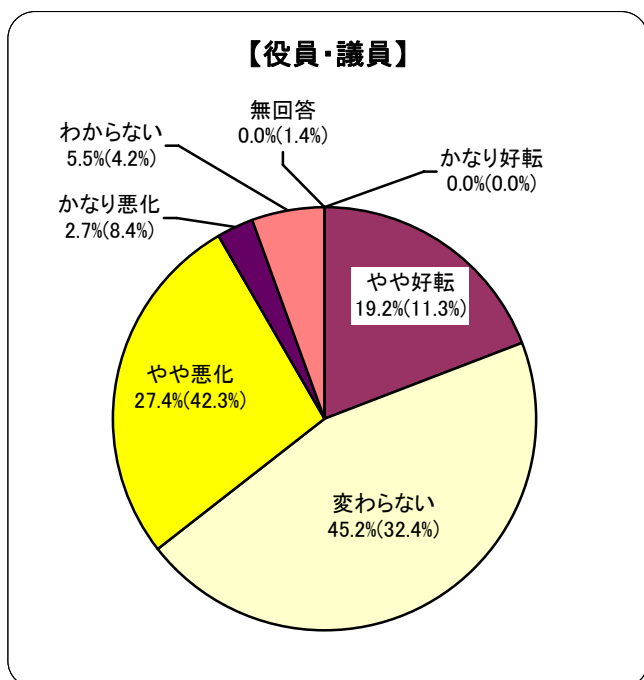
卸売・小売業

※グラフ内の()については、前年数値です。



来年の卸売・小売業の動向については、「やや悪化」が38.8%（対前年比3.4ポイント増）で前年に引き続きトップとなり、「変わらない」が29.8%（対前年比4.0ポイント増）、「やや好転」が14.7%（対前年比2.6ポイント増）となった。

前年に比べ「かなり悪化」が5.2ポイント減少したものの、他業種に比べポイントの増減が小さいことから、動向に大きな変化はないとの予測となっている。

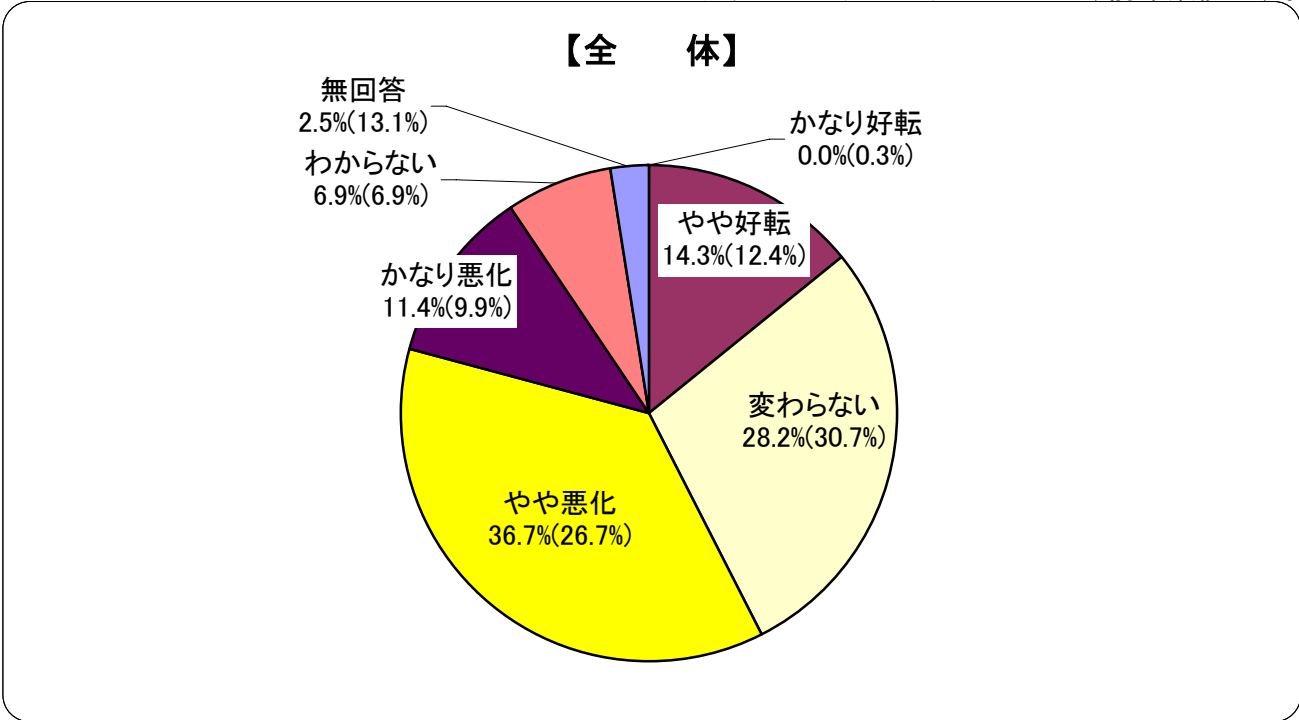


【役員・議員】は「変わらない」45.2%（対前年比12.8ポイント）、【小規模企業】は「やや悪化」43.6%（対前年比10.1ポイント増）がトップとなった。いずれも10ポイント以上の増加であり、企業規模による差が表れる結果となった。

2012年 産業別動向

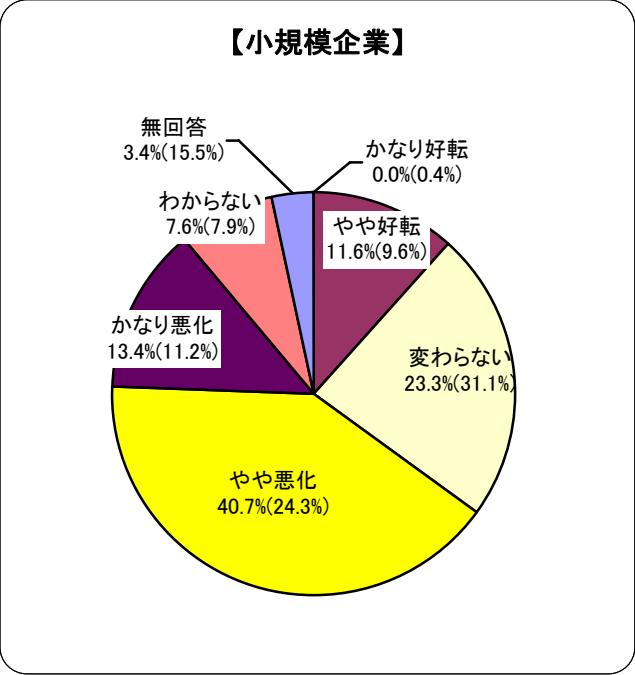
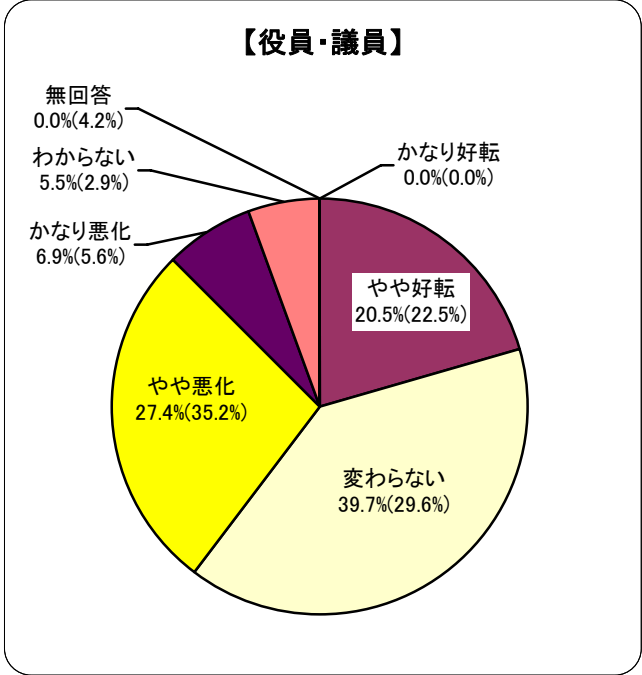
飲食業

※グラフ内の()については、前年数値です。



来年の飲食業の動向については、「やや悪化」が36.7%（対前年比10ポイント増）で前年に引き続きトップとなり、「変わらない」は28.2%（対前年比2.5ポイント減）、「やや好転」は14.3%（対前年比1.9ポイント増）となった。

「(やや+かなり)悪化」が48.1%（対前年比11.5ポイント増）と全業種の中で最も「悪化」の割合が拡大し、厳しい予測となっている。

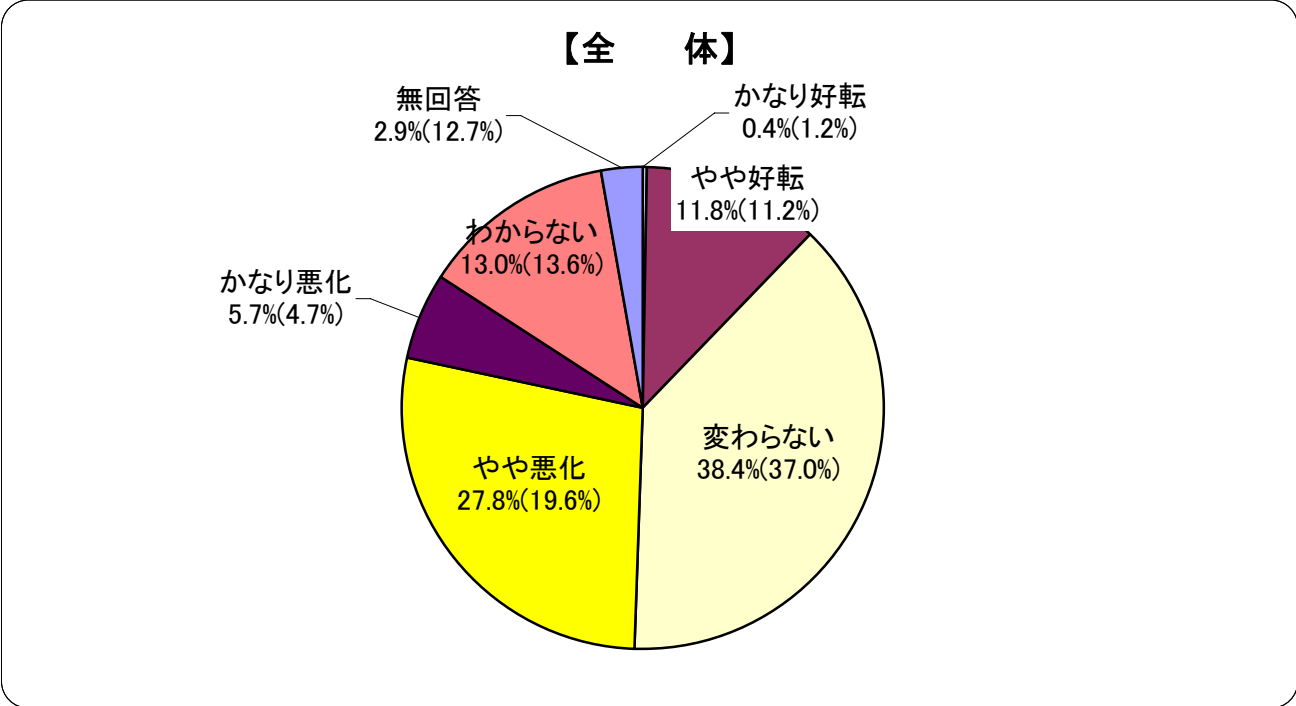


【役員・議員】は「変わらない」が39.7%（対前年比10.1ポイント増）、【小規模企業】は「やや悪化」が40.7%（対前年比16.4ポイント増）でトップとなった。いずれも10ポイント以上の増加であり、企業規模による差が表れる結果となった。

2012年 産業別動向

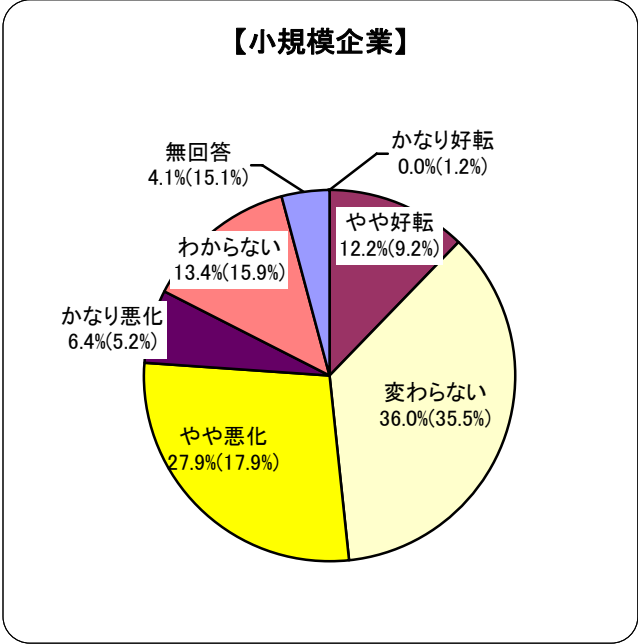
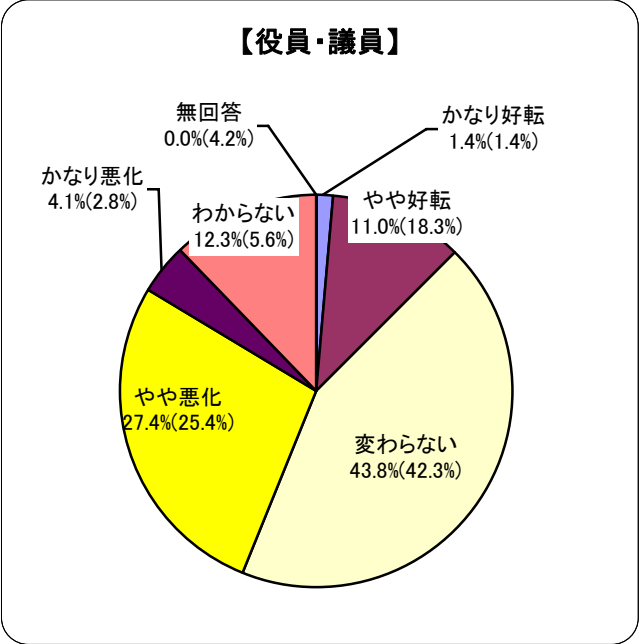
金融・保険業

※グラフ内の()については、前年数値です。



来年の金融・保険業の動向については、「変わらない」が38.4%（対前年比1.4ポイント増）で前年に引き続きトップとなり、「やや悪化」が27.8%（対前年比8.2ポイント増）、「わからない」が13.0%となった。

前年に続き「変わらない」の割合がトップではあるが、「やや悪化」の割合が増加していることから、欧州債務危機などが大きく影響していると思われる。



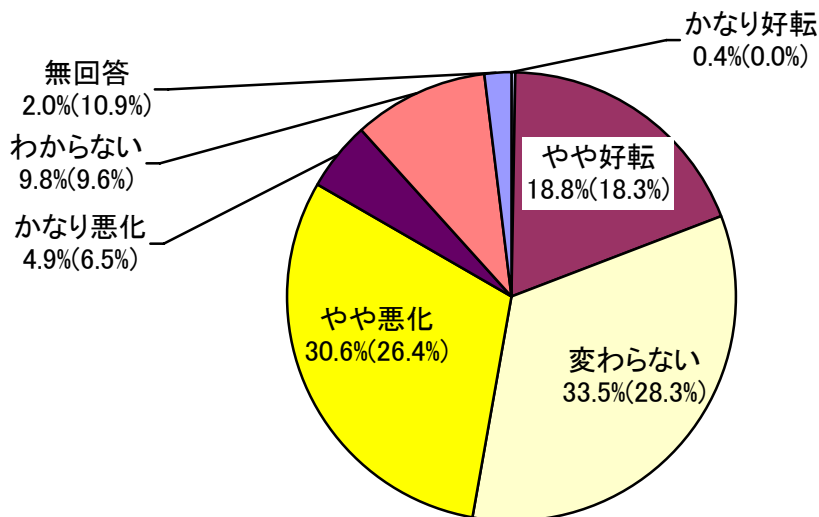
【役員・議員】【小規模企業】ともに「変わらない」がそれぞれ43.8%（対前年比1.5ポイント増）、36.0%（対前年比0.5ポイント増）とトップになった。それ以外はほとんど【役員・議員】、【小規模企業】とも同じ割合であり、企業規模に関わらずほぼ同じ予測となった。

2012年 産業別動向

サービス業

※グラフ内の()については、前年数値です。

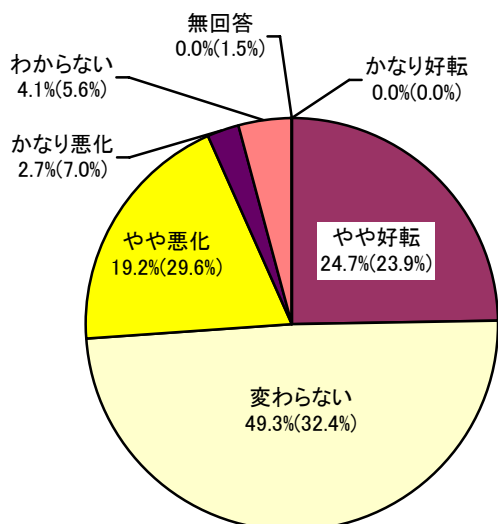
【全 体】



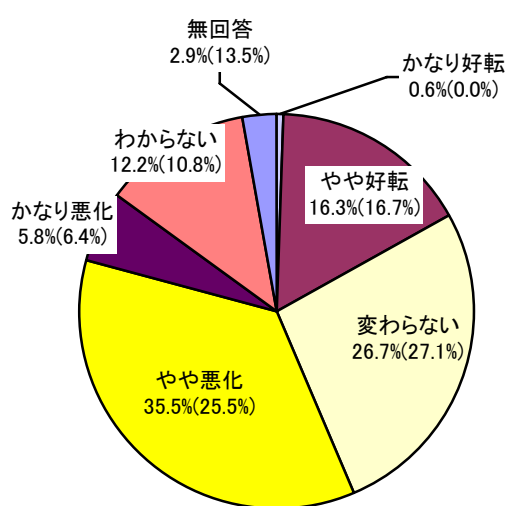
来年のサービス業の動向については、「変わらない」が33.5%（対前年比5.2ポイント増）で前年に引き続きトップとなり、「やや悪化」が30.6%（対前年比4.2ポイント増）、「やや好転」が18.8%とほぼ横ばいとなった。

前年に続き「変わらない」の割合がトップではあるが、「やや悪化」の割合も増加していることから、引き続き厳しい状況が続くとの予測となった。

【役員・議員】



【小規模企業】

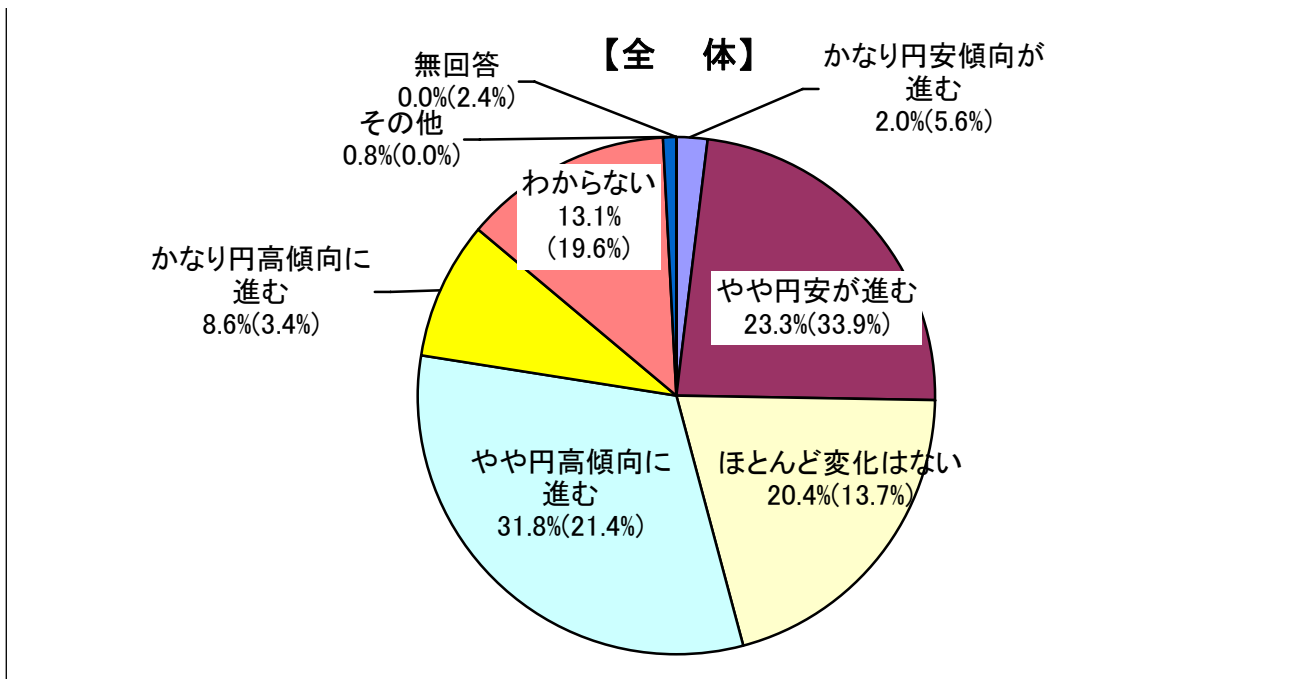


【役員・議員】は「変わらない」が49.3%（対前年比16.9ポイント増）とほぼ半数を占め、トップとなり、【小規模企業】は「やや悪化」が35.5%（対前年比10ポイント）でトップとなった。【役員・議員】【小規模企業】ともにトップの項目が前年より10ポイント以上増えていることから、企業規模による予測の差が大きいことを示す結果となった。

円市場予測

※グラフ内の()については、前年数値です。

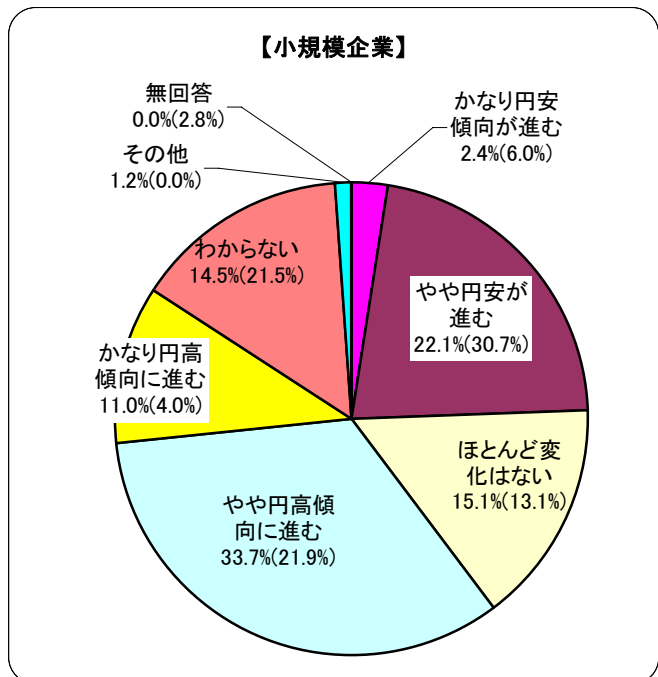
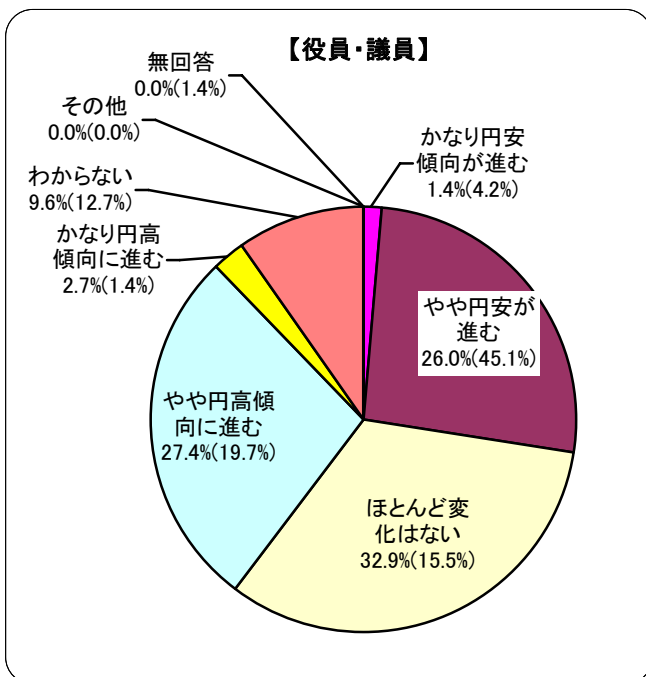
「やや円高」が31.8%、「やや円安」が23.3%(過半数が「円高」と予測)



円市場の推移予測は、「やや円高」が31.8%(対前年比10.4ポイント増)、次いで「やや円安」が23.3%(対前年比10.6ポイント減)となった。「かなり円高」と「やや円高」そして現在の円高基調を考慮し「ほとんど変化はない」を合わせると60.8%と過半数が「円高」を予測しており、円高基調が、今後も続くとの予測となった。

規模別の円市場予測

【役員・議員】「ほとんど変化はない」、【小規模企業】「やや円高」がトップ

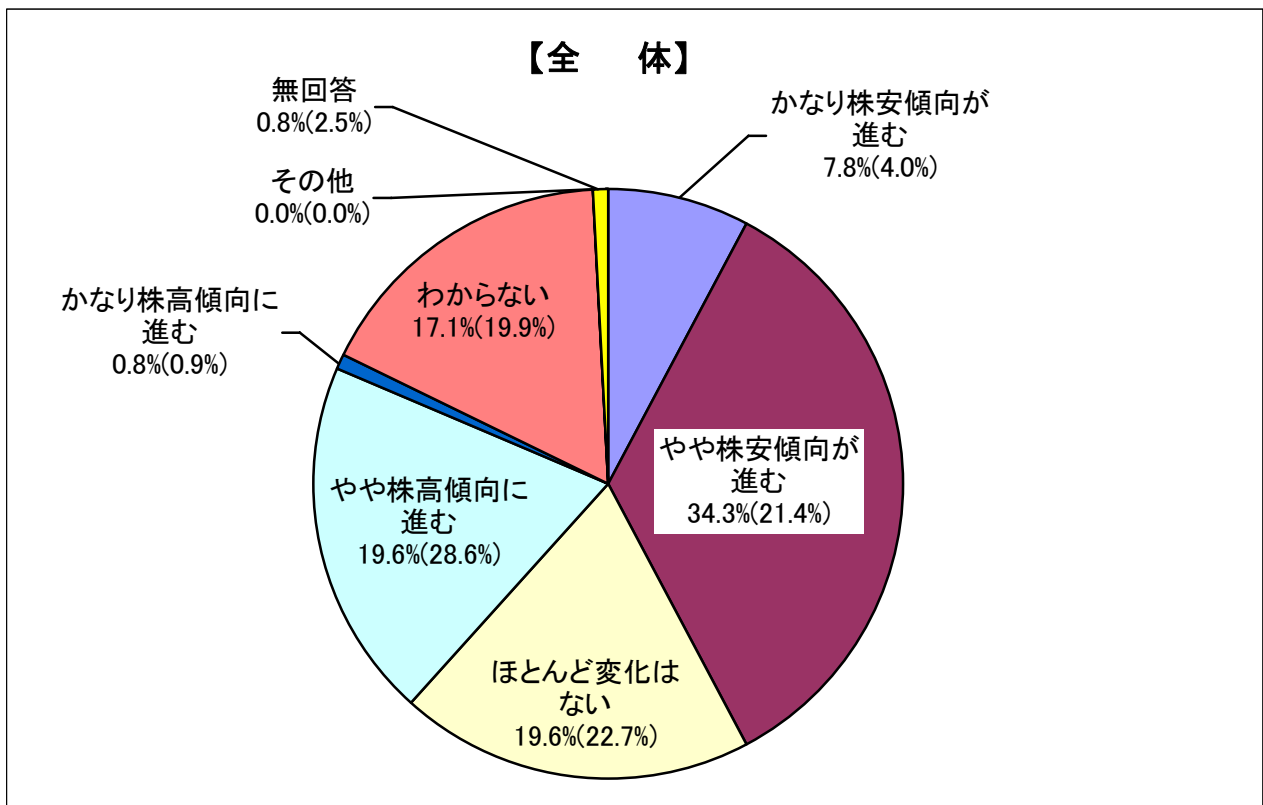


【役員・議員】は「ほとんど変化はない」が32.9%(対前年比17.4ポイント増)、【小規模企業】は「やや円高」が33.7%(対前年比11.8ポイント増)でトップであったが、【役員・議員】、【小規模企業】ともに「かなり円高」と「やや円高」そして現在の円高基調を考慮し「ほとんど変化はない」を合わせると、【役員・議員】は63.0%、【小規模企業】は59.8%とほぼ同じ割合となった。

株式市場予測

※グラフ内の()については、前年数値です。

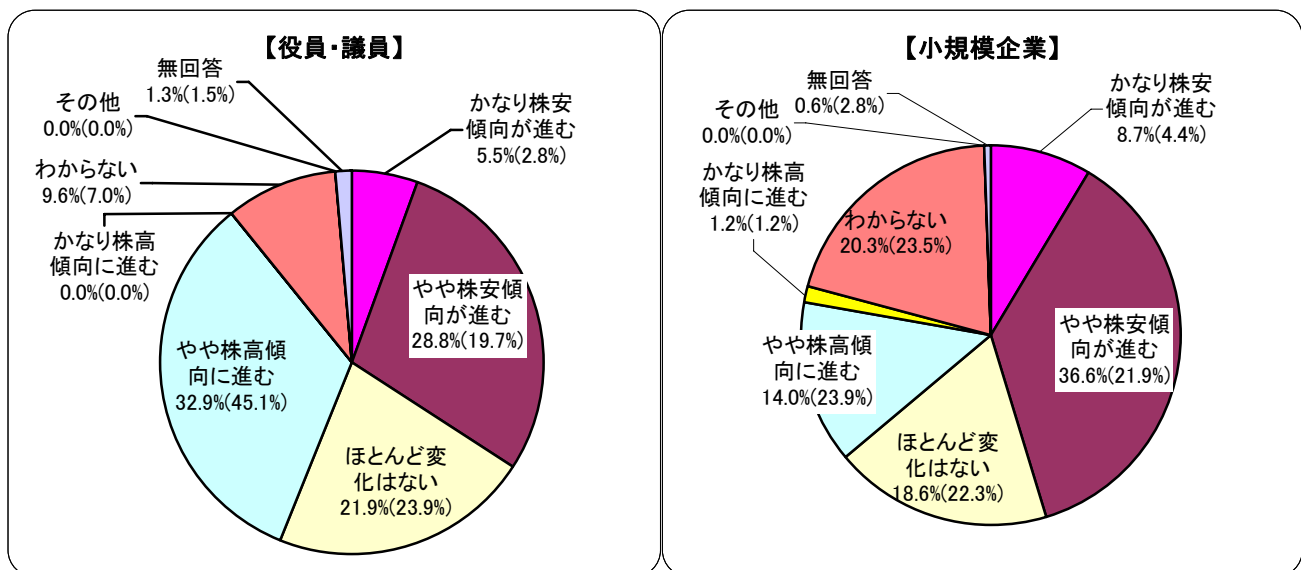
「やや株安」が34.3%、「ほとんど変化はない」、「やや株高」とともに19.6%



株式市場の予測は、「やや株安」が34.3%（対前年比12.9ポイント増）、「ほとんど変化はない」が19.6%（対前年比3.1ポイント減）、「やや株高」も19.6%（対前年比9.0ポイント減）となり、長引く株安の傾向が今後も続くとの予測となった。

規模別の株式市場予測

【役員・議員】は「やや株高」がトップ、【小規模企業】は「やや株安」がトップ

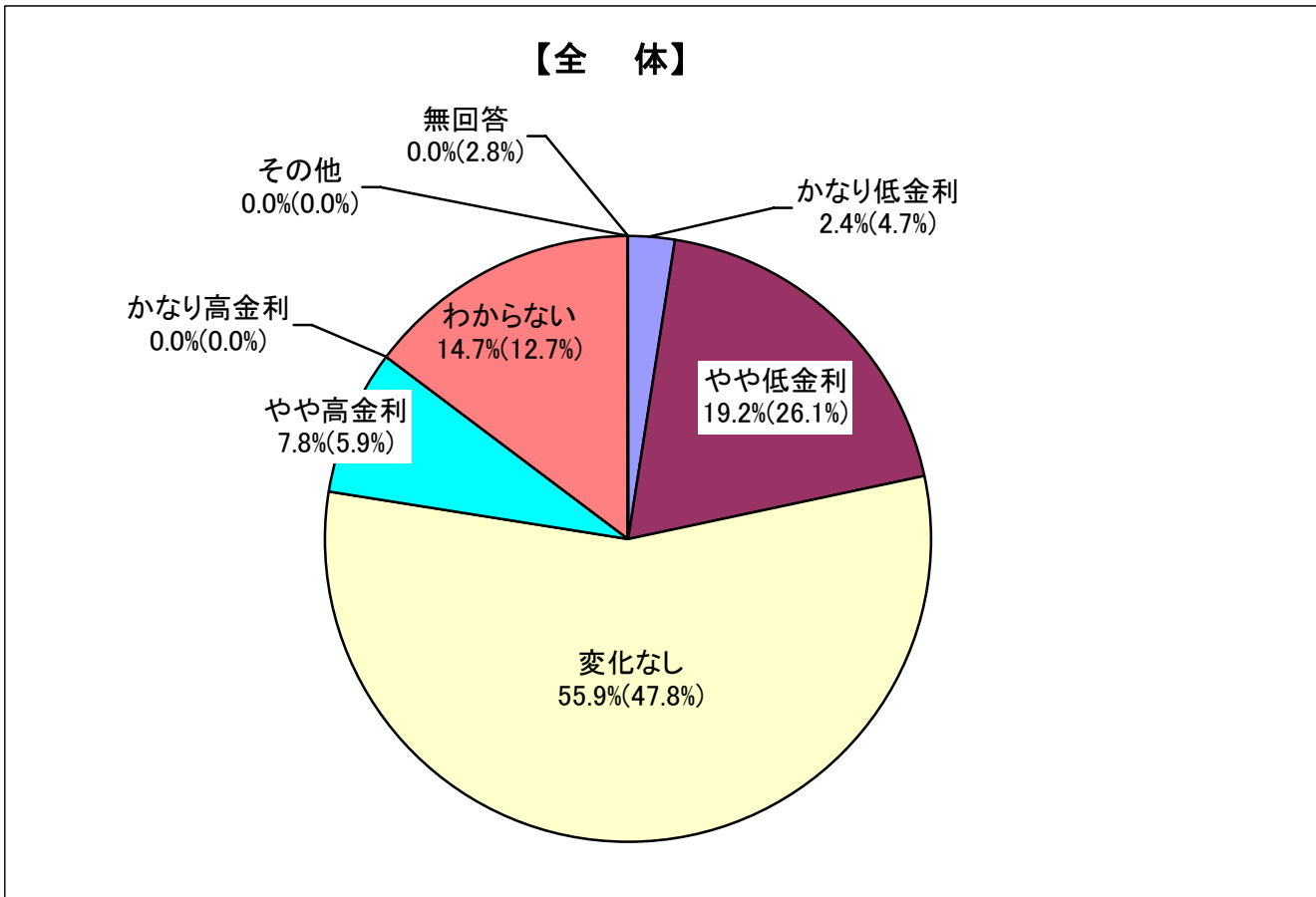


【役員・議員】は昨年同様「やや株高」が32.9%（対前年比12.2ポイント減）でトップ、【小規模企業】は「やや株安」（対前年比14.7ポイント増）がトップとなり、予測が分かれる結果となった。

金利予測

※グラフ内の()については、前年数値です。

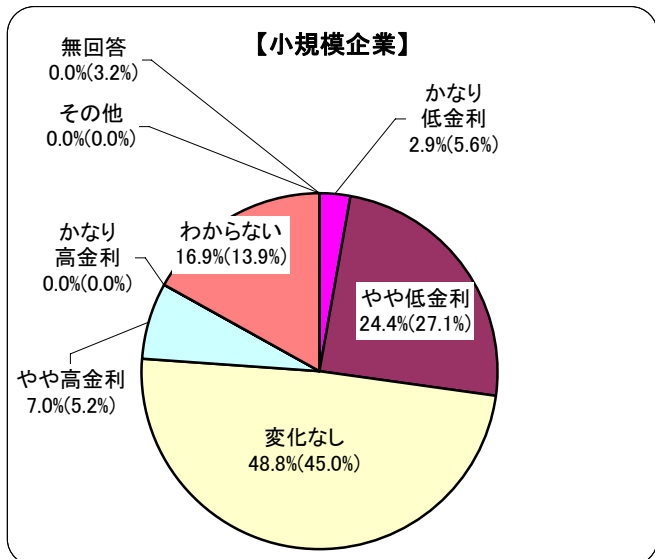
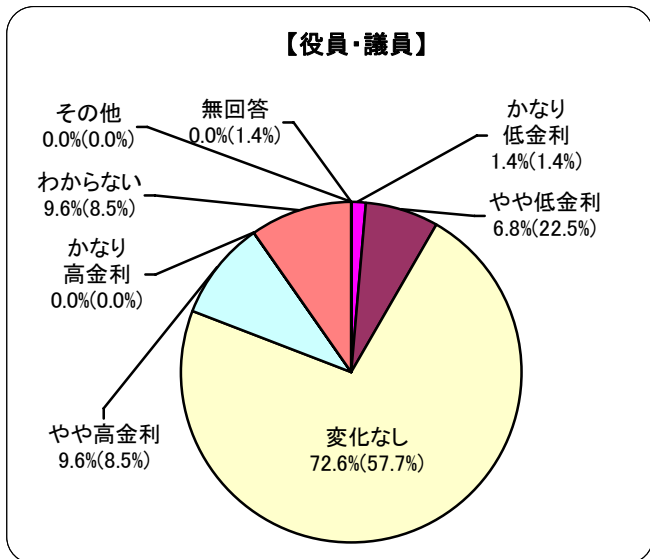
「変化なし」55.9%、「やや低金利」19.2%



金利の推移予測では、「変化なし」が55.9%（対前年比8.1ポイント増）でトップ、次いで「やや低金利」が19.2%（対前年比6.9ポイント減）、「やや高金利」は7.8%（対前年比1.9ポイント増）と、現在の低金利基調が、今後も続く予測となった。

規模別の金利予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップ

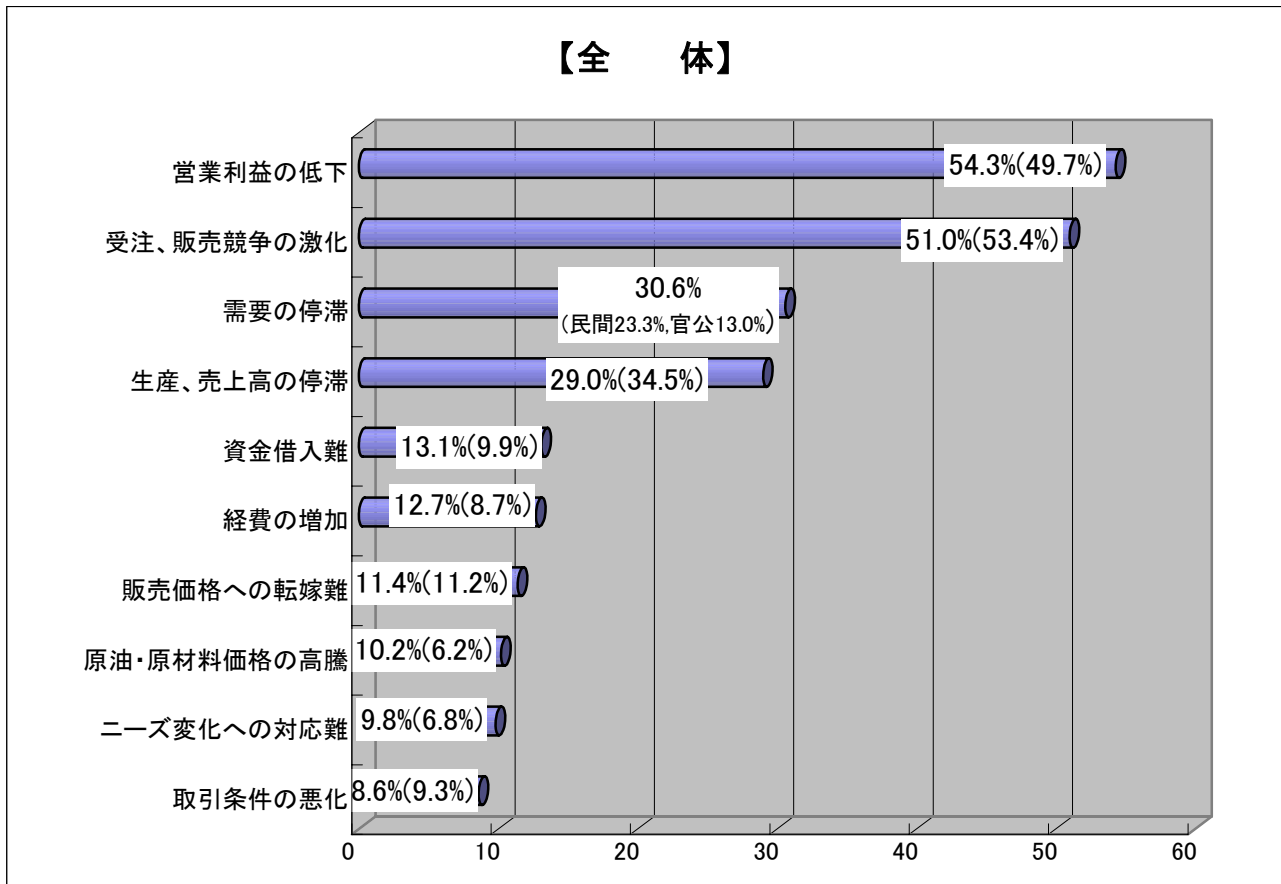


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がそれぞれ72.6%（対前年比14.9ポイント増）、48.8%（対前年比3.8ポイント増）でトップとなったが、それに続く割合は【役員・議員】は「やや高金利」、【小規模企業】は「やや低金利」と続き、予測が分かれた。

経営上の問題点

(複数回答) ※グラフ内の()については、前年数値です。

トップは「営業利益の低下」、次いで「販売競争の激化」、「需要の停滞」

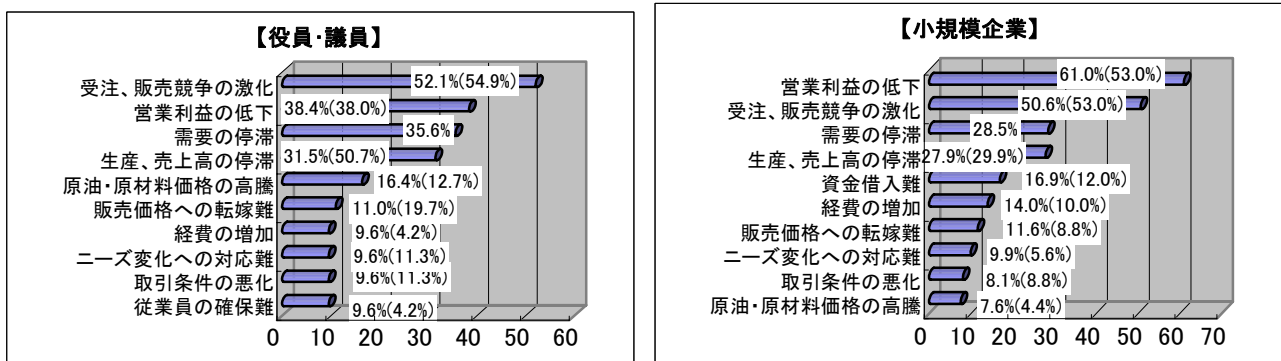


経営上の問題点として最も多かったのは、「営業利益の低下」54.3% (対前年比4.6ポイント増)、次いで「受注・販売競争の激化」51.0% (対前年比2.4ポイント減)、「需要の停滞」30.6% (対前年民間23.3%、官公13.0%)と続く。

前年と比較して割合が増加している項目が多く、特に上位5番から9番は全ての項目でポイントが増加していることから、経営上の問題点が多様化しているものと思われる。

規模別の経営上の問題点

【役員・議員】は「販売競争の激化」、【小規模企業】は「営業利益の低下」がトップ

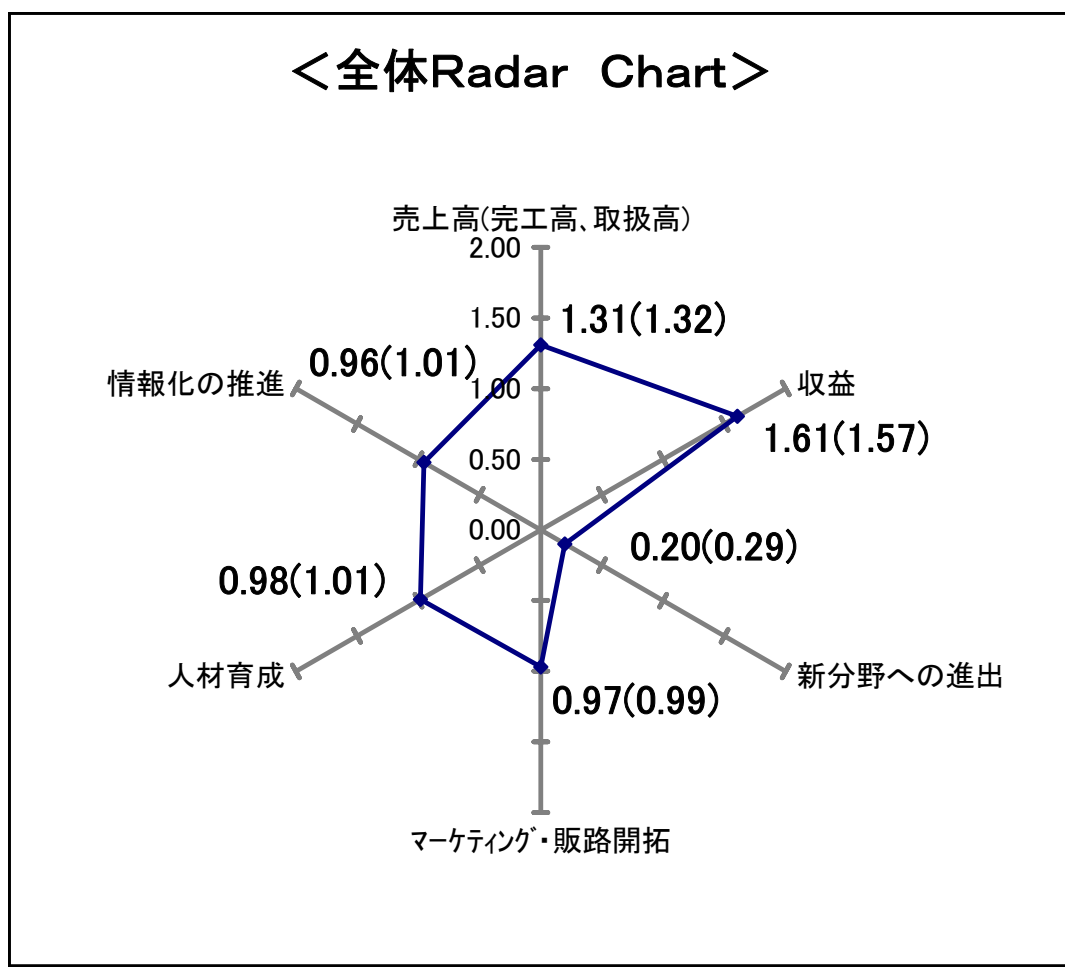


【役員・議員】は「販売競争の激化」、【小規模企業】は「営業利益の低下」がトップとなり、3位以下は共通して、「需要の停滞」「売上高の停滞」が上位を占め、規模に関係なく抱えている問題は共通していることを表す結果となった。

経営の重視度

※グラフ内の()については、前年数値です。

「収益」のみポイントが増加。それ以外はポイント減少
 ～一層「収益」重視の傾向が強く、「新分野への進出」には慎重～

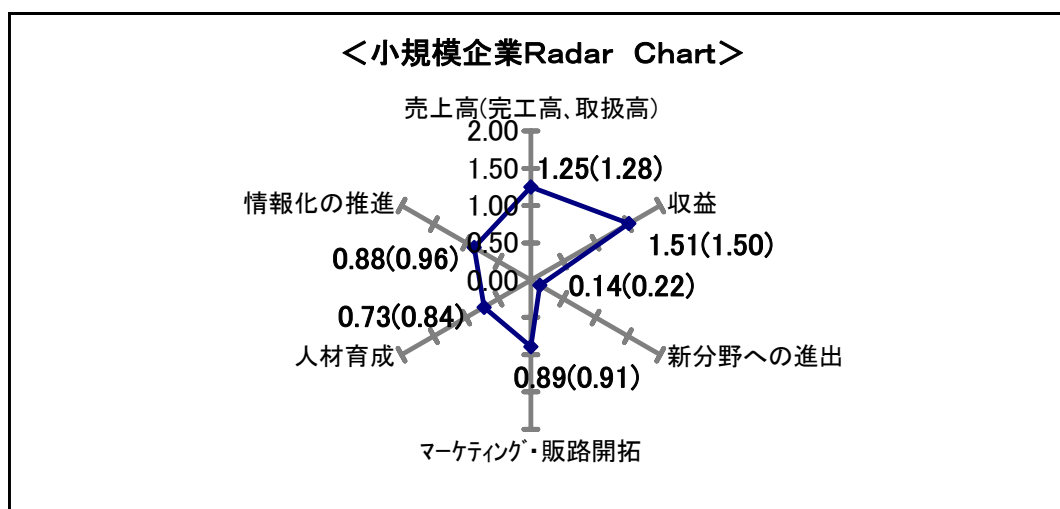
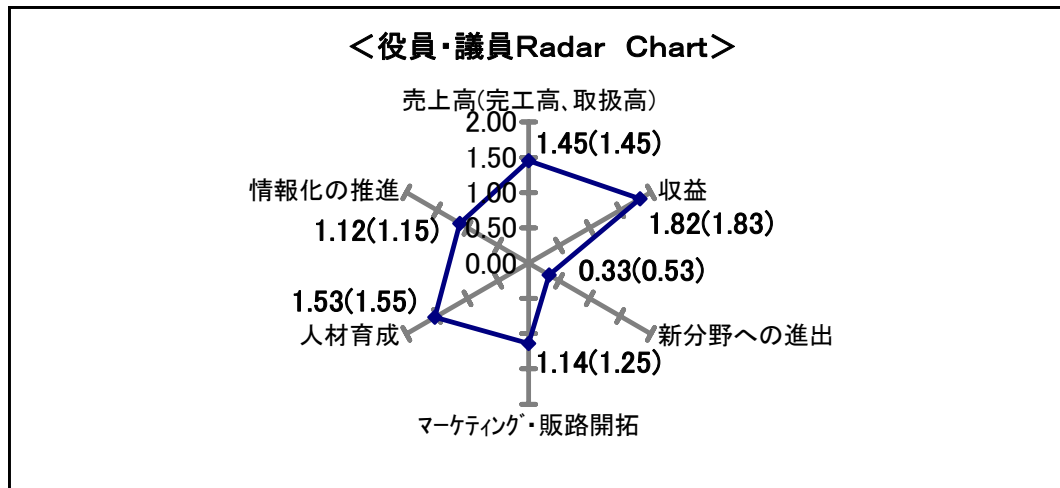


上のレーダーチャートは、「重視度」をポイント換算(※)し作成したもの。
 それによると、2012年における経営の重視度は、「収益」のみポイントが増加し、それ以外の項目でポイントが減少するも、昨年同様「収益」「売上高(完工高、取扱高)」の2つで重視ポイントが高く、一方で「人材育成」、「情報化の推進」については、1を割り込んだ。「新分野への進出」については、前年からさらに減少した。

※ 「かなり重視」をプラス2、「やや重視」をプラス1、「重視しない」をマイナス1としてトータルポイントを算出し、総回答から「わからない」と回答した人数を引いた数で割ったもの

規模別の経営上の重視度

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「収益」がトップ



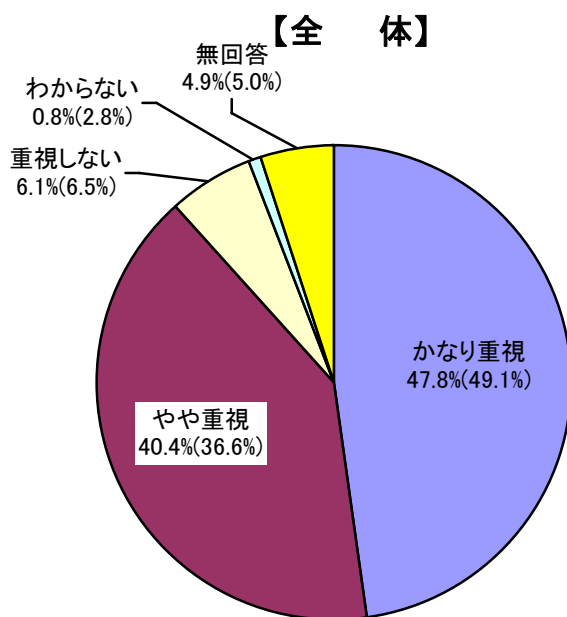
上のレーダーチャートは、規模別に「重視度」をポイント換算(※)し作成したもの。
 【役員・議員】、【小規模企業】ともに「収益」がトップ、6番目が「新分野への進出」となり、
 新分野への進出より、本業重視の傾向が強い結果となった。「人材育成」は【役員・議員】
 は2番目だったのに対し、【小規模企業】では0.73で5番目であり、人材育成等の視点
 で大きく分かれる結果となった。

※ 「かなり重視」をプラス2、「やや重視」をプラス1、「重視しない」をマイナス1としてトータルポイントを算出し、総回答から「わからない」と回答した人数を引いた数で割ったもの

経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

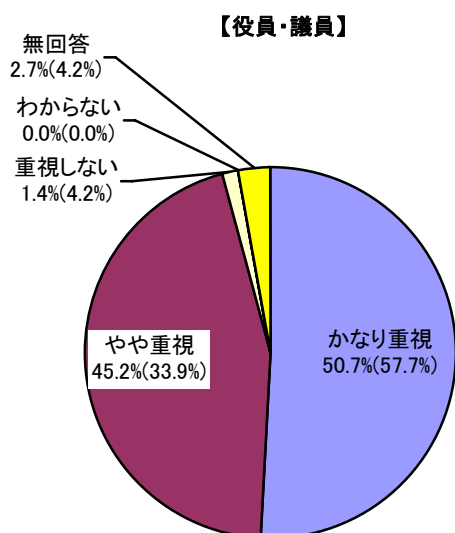
<売上高>「かなり重視」47.8%



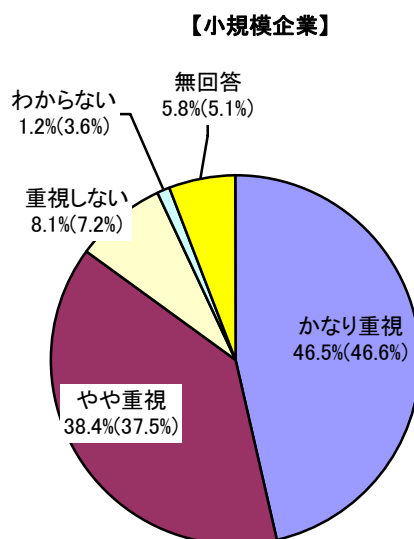
売上高については「かなり重視する」が47.8%(対前年比1.3ポイント減)、「やや重視する」が40.4%(対前年比3.8ポイント増)で「かなり」と「やや」を合わせた「重視する」が88.2%(対前年比2.5ポイント増)となり、わずかに重視傾向が高くなっている。

規模別の経営上の重視点

<売上高>「かなり重視」50.7%



<売上高>「かなり重視」46.5%

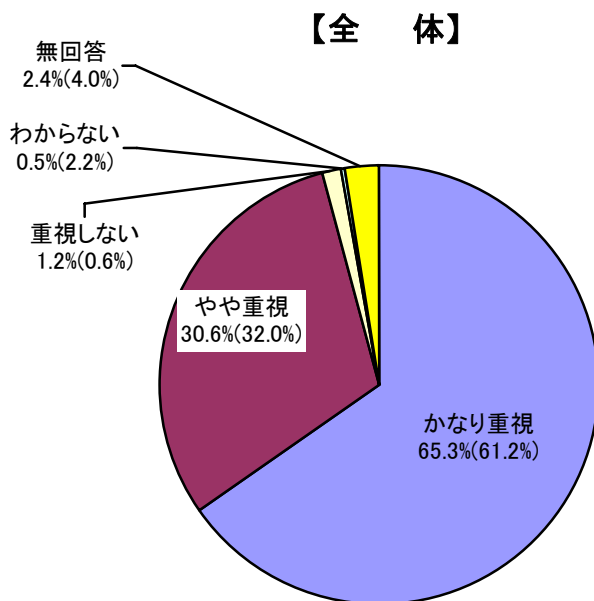


【役員・議員】は「(やや+かなり)重視する」が95.2%、【小規模企業】は84.9%と10ポイントを超える差となった。【小規模企業】では「重視しない」が8.1%と高くなっている。

経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

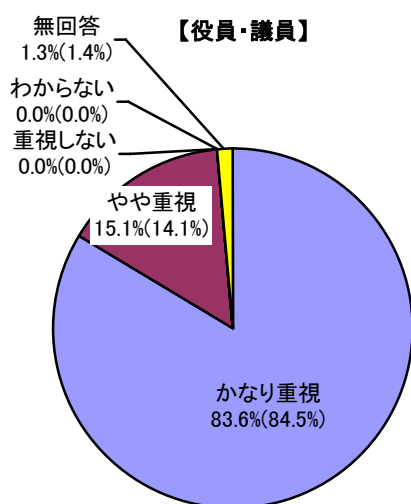
<収益>「かなり重視」65.3%



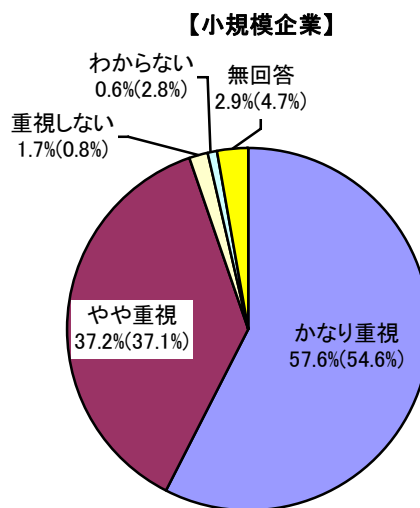
収益については「かなり重視する」が65.3%（対前年比4.1ポイント増）、「やや重視する」が30.6%（対前年比1.4ポイント減）で「かなり」と「やや」を合わせた「重視する」が95.9%（対前年比2.7ポイント増）となり、売上高と同様わずかに重視傾向が高くなっている。

規模別の経営上の重視点

<収益>「かなり重視」83.6%



<収益>「かなり重視」57.6%

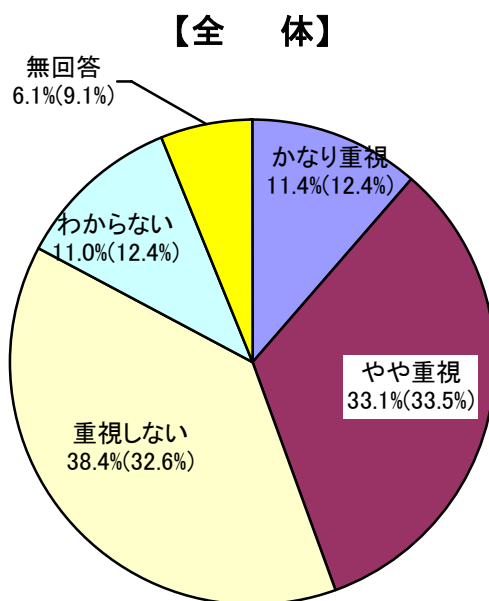


【役員・議員】、【小規模企業】ともに、「(やや+かなり)重視する」がそれぞれ98.7%、94.8%と90%を超えたが、【役員・議員】では「かなり重視する」が83.6%と高くなっている。

経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

<新分野への進出>「重視しない」38.4%

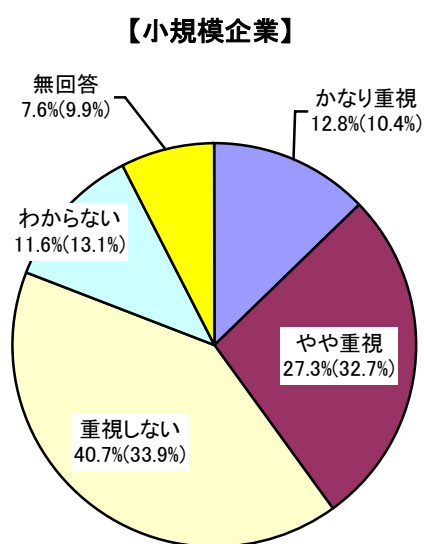
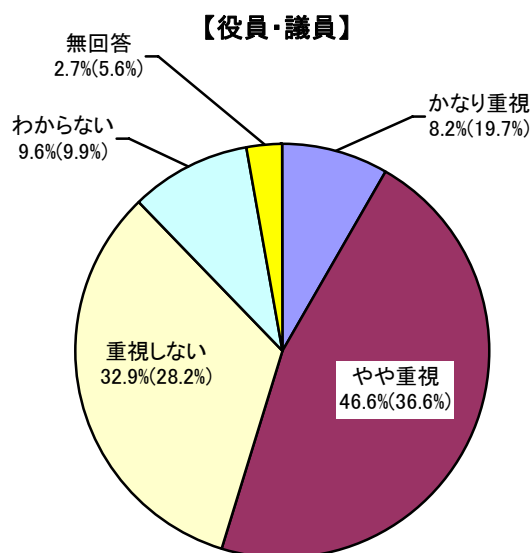


「新分野の進出」については「重視しない」が38.4%（対前年比5.8ポイント増）となり、「既存の事業への集中」傾向が強まる結果となった。

規模別の経営上の重視点

<新分野への進出>「やや重視」46.6%

<新分野への進出>「重視しない」40.7%

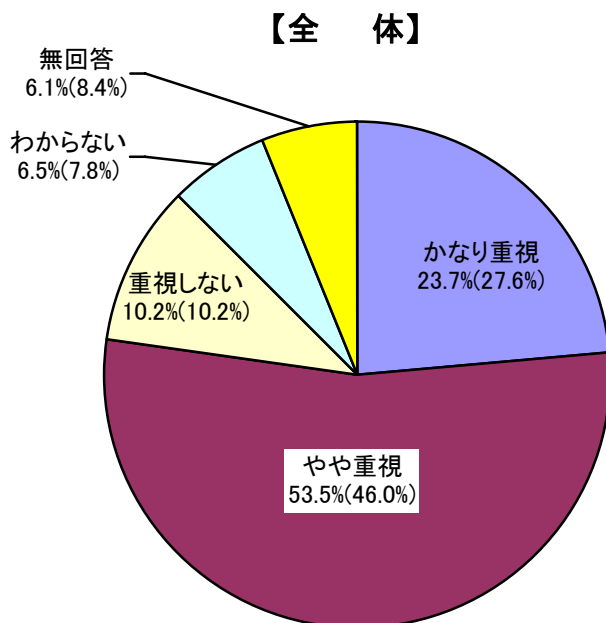


【役員・議員】は新分野の進出については「やや重視」が46.6%（対前年比10ポイント増）でトップなのに対し、【小規模企業】は「重視しない」が40.7%（対前年比6.8ポイント増）でトップであった。

経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

<マーケティング・販路開拓>「やや重視」53.5%

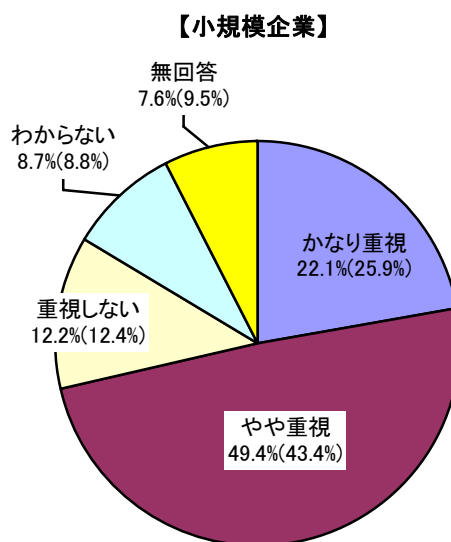
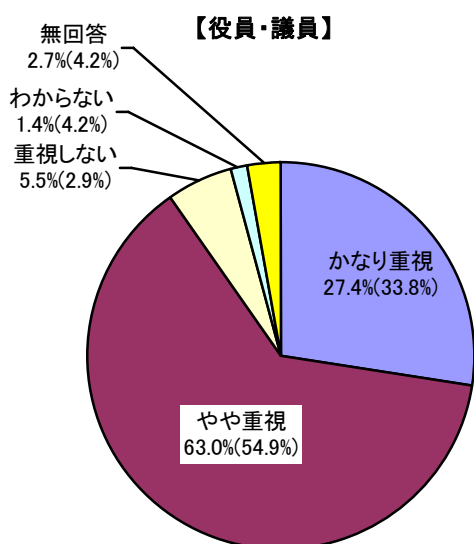


マーケティング・販路開拓については「かなり重視する」が23.7%（対前年比3.9ポイント減）、「やや重視する」が53.5%（対前年比7.5ポイント増）で「かなり」と「やや」を合わせた「重視する」が77.2%（対前年比3.6ポイント増）となり、わずかに重視傾向が高くなっている。

規模別の経営上の重視点

<マーケティング・販路開拓>
「やや重視」63.0%

<マーケティング・販路開拓>
「やや重視」49.4%

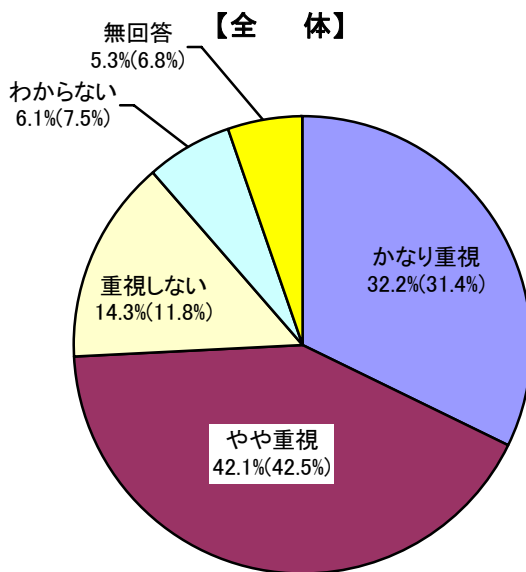


【役員・議員】【小規模企業】はともに「やや重視」がそれぞれ63.0%（対前年比9.1ポイント増）、49.4%（対前年比6ポイント増）とトップであった。「(かなり+やや)重視する」の割合が、【役員・議員】は90.4%に対し、【小規模企業】は71.5%となった。

経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

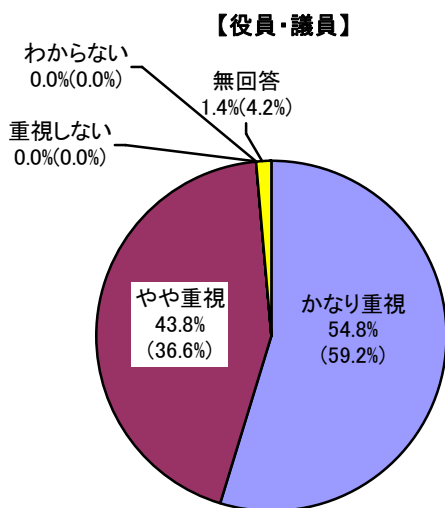
<人材育成>「やや重視」42.1%



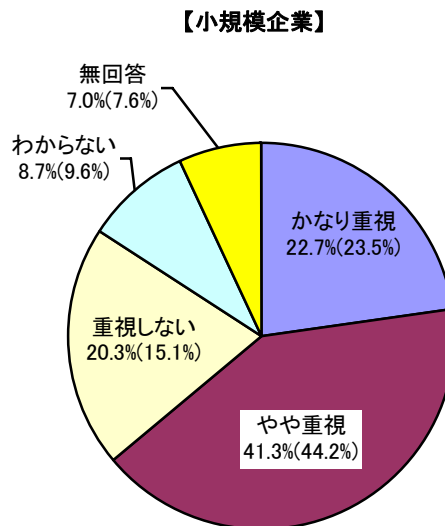
人材育成については「やや重視する」が42.1%と横ばいで推移し、「かなり重視する」も32.2%と同じく横ばいで推移した。「重視しない」は14.3%(対前年比2.5ポイント増)となり、唯一前年よりポイントが増加した。

規模別の経営上の重視点

<人材育成>「かなり重視」54.8%



<人材育成>「やや重視」41.3%



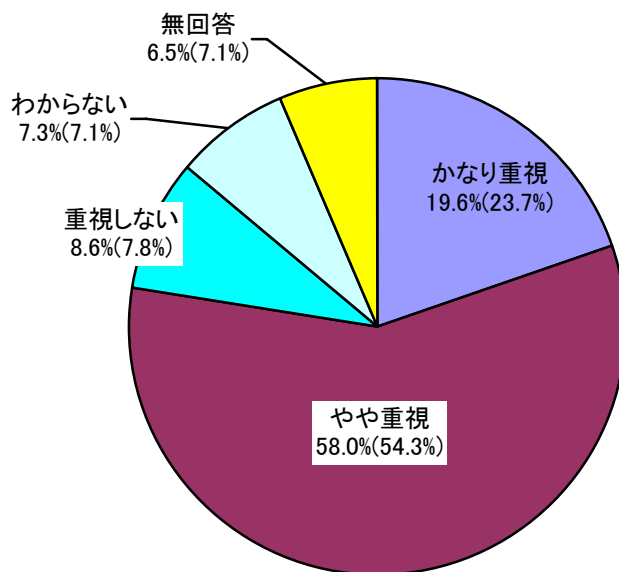
【役員・議員】は「(かなり+やや)重視する」の割合が、98.6%に対し、【小規模企業】63.7%にとどまった。一方、「重視しない」は【役員・議員】は0%だったのに対し、【小規模企業】は20.3%(対前年比5.2ポイント増)と大きな違いが見られた。

経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

<情報化の推進>「やや重視」58.0%

【全 体】

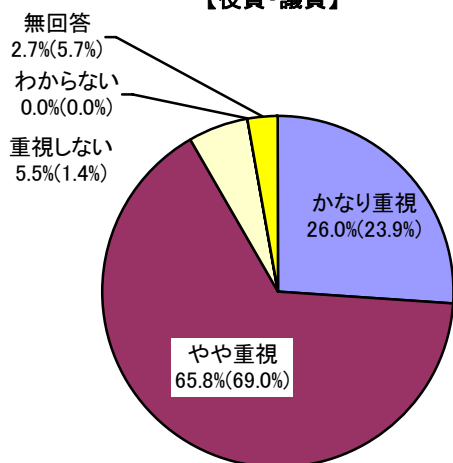


「情報化の推進」については「やや重視する」は58.0%（対前年比3.7ポイント増）となったが、「（かなり＋やや）重視する」は77.6%と横ばいで推移した。

規模別の経営上の重視点

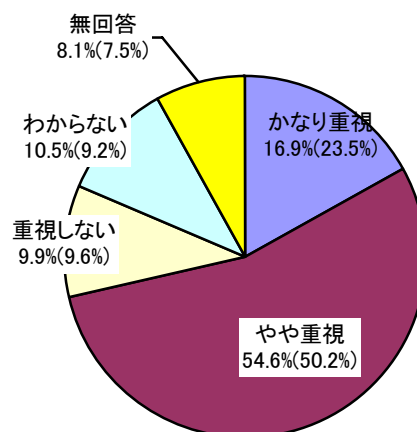
<情報化の推進>「やや重視」65.8%

【役員・議員】



<情報化の推進>「やや重視」54.6%

【小規模企業】

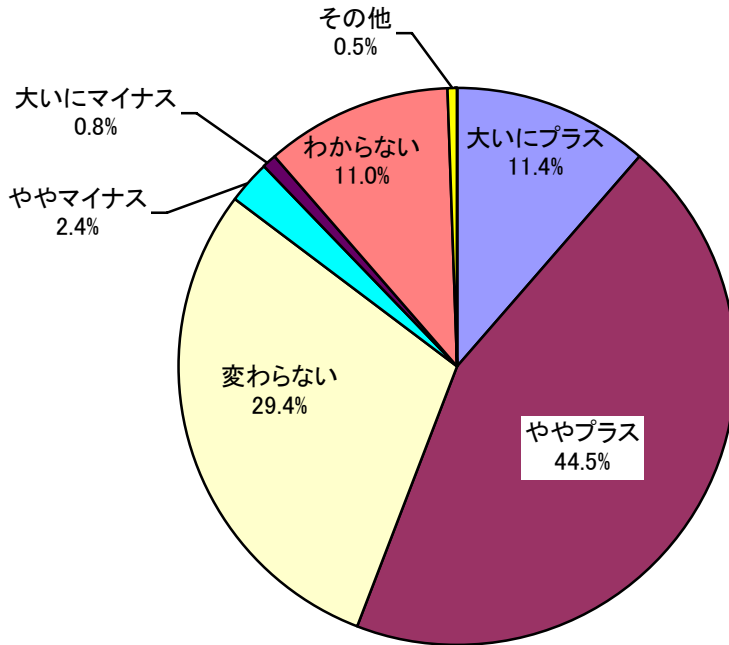


【役員・議員】は「（かなり＋やや）重視する」の割合が、91.8%に対し、【小規模企業】は71.5%にとどまり、約20ポイントの差となった。

熊本市の政令指定都市移行に伴う経済効果

「ややプラス」44.5%、「変わらない」29.4%

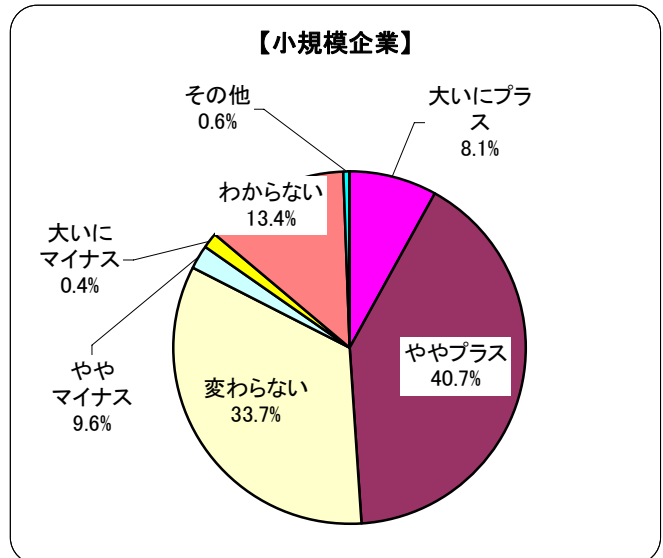
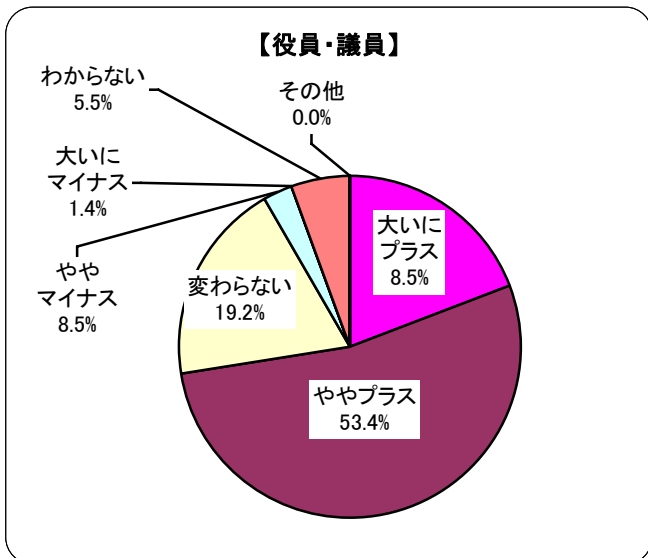
【全 体】



来年4月の熊本市の政令指定都市移行に伴う経済効果では、「ややプラス」が44.5%でトップ、次いで「変わらない」が29.4%、「大いにプラス」が11.4%、「わからない」が11.0%という結果となった。政令指定都市移行に伴う経済効果は、過半数がプラスの効果을期待するという予測となった。

規模別の熊本市の政令指定都市移行に伴う経済効果

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「ややプラス」がトップ



【役員・議員】、【小規模企業】ともに「ややプラス」、「変わらない」と続き、規模別に関係なく、熊本市の政令指定都市移行が何らかの形で地元経済にプラスの効果を与える予測となった。

その一方で、【役員・議員】においては「(大いに) + (やや) プラス」の割合が61.9%と過半数を超えているのに対し、【小規模企業】においては48.8%にとどまり、「変わらない」の割合が33.7%と全体の3分の1を占めるなど大きな違いがみられる。

2012年経済予測アンケート

貴社名	差し支えなければご記載ください。
-----	------------------

景 気

Q1 景気の現状について昨年（2010年）11月と比較して、どのように感じてもらえますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- | | |
|-----------|-----------|
| (1) かなり好転 | (2) やや好転 |
| (3) 変わらない | (4) やや悪化 |
| (5) かなり悪化 | (6) わからない |
| (7) その他 (|) |

Q2 県内の景気動向についてお尋ねします。本格的な回復時期は、いつ頃からと思われますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 既に回復している | (2) 2012年上期から回復 |
| (3) 2012年下期から回復 | (4) 2013年から回復 |
| (5) 2014年以降に回復 | (6) わからない |
| (7) その他 (|) |

産業全体の予測

Q3 現在（2011年11月）の業況水準を基準に、2012年の県内の各産業別動向について、どのように予測されますか。□欄にレ印をお付け下さい。
 （自社以外の業種についてもご回答をお願い致します。）

	① かなり 好転する	② やや 好転する	③ 変 わ ら な い	④ や や 悪 化 す る	⑤ か な り 悪 化 す る	⑥ わ か ら な い
1. 全 業 種	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 建 設 業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 製 造 業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 運 輸 ・ 通 信 業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 卸 売 ・ 小 売 業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 飲 食 業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 金 融 ・ 保 険 業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. サ ー ビ ス 業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

（※1～8の全ての業種に該当箇所のチェックをお願い致します。）

円市場

- Q 4 現在（2011年11月上旬）の為替水準を基準に、2012年の円市場の見通しについて、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考(終値ベース、10月31日－11月4日)	始値	高値	安値	終値
東京外国為替 円(1ドル=円)	75.73	79.51	75.55	78.23

- (1) かなり円安傾向が進む (2) やや円安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや円高傾向に進む
(5) かなり円高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

株式市場

- Q 5 2012年の株式市場の見通しについて、現在（2011年11月上旬）の株式市場の水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考(終値ベース、10月31日－11月4日)	始値	高値	安値	終値
国内株式 日経平均(円)	9,011.18	9,152.39	8,640.2	9,625.99

- (1) かなり株安傾向が進む (2) やや株安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや株高傾向に進む
(5) かなり株高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

金利

- Q 6 2012年における金利の見通しについて、今年（2011年11月上旬）の金利水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり低金利傾向が進む (2) やや低金利傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや高金利傾向に進む
(5) かなり高金利傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

経営の問題点

- Q 7 2012年における貴社の経営上の問題点を、どのように予測されますか。
該当する番号を○でお囲み下さい。（3項目以内）

- (1) 受注、販売競争の激化 (2) 生産、売上高の停滞
(3) 営業利益の低下 (4) 需要の停滞
(5) 経費の増加 (6) 販売価格への転嫁難
(7) 大型店、類似店の進出 (8) ニーズ変化への対応難
(9) 原油・原材料価格の高騰 (10) 為替レート、株価の変動
(11) 資金借入難 (12) 取引条件の悪化
(13) 情報化への対応難 (14) 従業員の確保難
(15) 事業承継難（後継者不足） (16) 震災・原発の影響 ()
(17) その他 ()

経営の重視点

Q 8 2012年に貴社の経営上、重視される点についてどのように予測されますか。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄にレ印をお付け下さい。

	① かなり重視する	② やや重視する	③ 重視しない	④ わからない
1. 売上高(完工高、取扱高)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 収 益	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 新分野への進出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. マーケティング、販路開拓	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 人材育成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 情報化の推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(※追加調査)

熊本市の政令指定都市移行について

Q 9 2012年4月に熊本市が政令指定都市移行に伴う経済効果について、どのように予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 大いにプラス | (2) ややプラス |
| (3) 変わらない | (4) ややマイナス |
| (5) 大いにマイナス | (6) わからない |
| (7) その他 () | |

コメント

熊本経済の発展に向けて、必要なこと、期待すること、また望まれる経済対策などについて、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

ご協力ありがとうございました。

熊本商工会議所 会員サービス部 情報調査課

TEL 096-354-6688 FAX 0120-268-343/096-354-8890/096-352-5202